

## 市民・利用者等アンケート調査

### 結果概要(速報版)

※今後、数値を変更する場合があります

令和元年 10 月 23 日

# 目次

1 アンケート調査の実施概要・回収状況	3
2 市民アンケート調査の結果概要	5
2.1 回答者の属性	5
2.2 普段の外出について	7
2.3 市内の路線バスの利用について	9
2.4 市内発着のJR・航路の満足度について	14
2.5 市内の公共交通の問題などについて	19
2.6 地域コミュニティ交通について【本郷・久井・大和地域のみ】	23
3 路線バス利用者アンケート調査の結果概要	25
3.1 回答者の属性	25
3.2 普段の路線バスの利用実態	25
3.3 路線バスの満足度や問題点	26
4 地域コミュニティ交通利用者アンケート調査の結果概要	28
4.1 回答者の属性	28
4.2 普段の地域コミュニティ交通の利用実態	30
4.3 地域コミュニティ交通の満足度や問題点	31
5 八幡町民アンケート調査の結果概要	35
5.1 世帯の移動手段	35
5.2 「さくら号」の利用実態・満足度・問題点(利用経験がある人のみ)	35
5.3 今後の利用意向(現在、移動手段で困っている方)	37
6 町内会長・自治会長・自治区長アンケート調査の結果概要	38
6.1 町内会等における移動の問題	38
7 民生委員・児童委員アンケート調査の結果概要	40
7.1 担当地区における移動の現状や問題	40

# 1 アンケート調査の実施概要・回収状況

地域公共交通に対する市民ニーズ・問題点等を把握するため、アンケート調査を行った。調査の種類は、以下の6種類である。

なお、本資料では主な調査項目についての結果のみを掲載している。

表 各アンケート調査の実施概要

調査対象	調査目的・実施概要																												
①市民	<p>市民（満15歳以上の市内居住者）を対象として、地域公共交通の利用実態、満足度、要望等の意見、また今後の地域公共交通の維持・活性化の考えなどを把握。</p> <p>■配布回収方法：郵送配布／郵送回収</p> <p>■配布件数：3,000世帯（各世帯に、調査票を2通配布）</p> <p>■有効サンプル数：2,223件（回収世帯1,421世帯、回収率47.4%）</p>																												
②路線バス利用者	<p>路線バスの利用者を対象として、利用実態、満足度や問題点、民間移譲による不具合の有無や効果などを把握。</p> <p>■配布回収方法：三原駅前バス乗り場で手渡し配布／郵送回収</p> <p>■配布件数：703件</p> <p>■有効サンプル数：285件（回収率40.5%）</p>																												
③地域コミュニティ交通利用者	<p>地域コミュニティ交通（6路線）利用者を対象として、利用者の属性や当該手段の利用状況、満足度、問題点などを把握。</p> <p>■配布回収方法：車内で乗務員が手渡し配布／郵送回収</p> <p>■配布件数，有効サンプル数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>配布件数</th> <th>回収件数</th> <th>（回収率）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本郷ふれあいタクシー</td> <td>88件</td> <td>70件</td> <td>(79.5%)</td> </tr> <tr> <td>久井ふれあいバス</td> <td>42件</td> <td>32件</td> <td>(76.2%)</td> </tr> <tr> <td>大和ふれあいタクシー</td> <td>60件</td> <td>41件</td> <td>(68.3%)</td> </tr> <tr> <td>佐木島循環バス</td> <td>26件</td> <td>15件</td> <td>(57.7%)</td> </tr> <tr> <td>幸崎おでかけ号</td> <td>21件</td> <td>21件</td> <td>(100.0%)</td> </tr> <tr> <td>八幡町さくら号</td> <td>10件</td> <td>9件</td> <td>(90.0%)</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	配布件数	回収件数	（回収率）	本郷ふれあいタクシー	88件	70件	(79.5%)	久井ふれあいバス	42件	32件	(76.2%)	大和ふれあいタクシー	60件	41件	(68.3%)	佐木島循環バス	26件	15件	(57.7%)	幸崎おでかけ号	21件	21件	(100.0%)	八幡町さくら号	10件	9件	(90.0%)
路線名	配布件数	回収件数	（回収率）																										
本郷ふれあいタクシー	88件	70件	(79.5%)																										
久井ふれあいバス	42件	32件	(76.2%)																										
大和ふれあいタクシー	60件	41件	(68.3%)																										
佐木島循環バス	26件	15件	(57.7%)																										
幸崎おでかけ号	21件	21件	(100.0%)																										
八幡町さくら号	10件	9件	(90.0%)																										
④八幡町民	<p>八幡町民を対象として、「八幡町民タクシーさくら号」の利用実態、利用したことがない理由などを把握。</p> <p>■配布回収方法：町内会から手渡し配布／郵送回収</p> <p>■配布件数：266世帯</p> <p>■有効サンプル数：203件（回収率76.3%）</p>																												

調査対象	調査目的・実施概要
⑤町内会長・自治会長・自治区長	<p>各町内会長・自治会長・自治区長に対して、地域の生活移動で困っている高齢者等の実態や問題点等を調査し、公共交通の維持・活性化に向けた問題・課題を把握。</p> <p>■配布回収方法：町内会回覧に封入／郵送回収</p> <p>■配布件数：513件</p> <p>■有効サンプル数：291件（回収率：56.7%）</p>
⑥民生委員・児童委員	<p>民生委員・児童委員を対象として、地域の生活移動で困っている高齢者等の実態や問題点等を調査し、公共交通の維持・活性化に向けた問題・課題を把握。</p> <p>■配布回収方法：民生委員・児童委員の会議の場で配布／郵送回収</p> <p>■配布件数：247件</p> <p>■有効サンプル数：158件（回収率：64.0%）</p>

**※調査結果の数値の取り扱い等について**

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

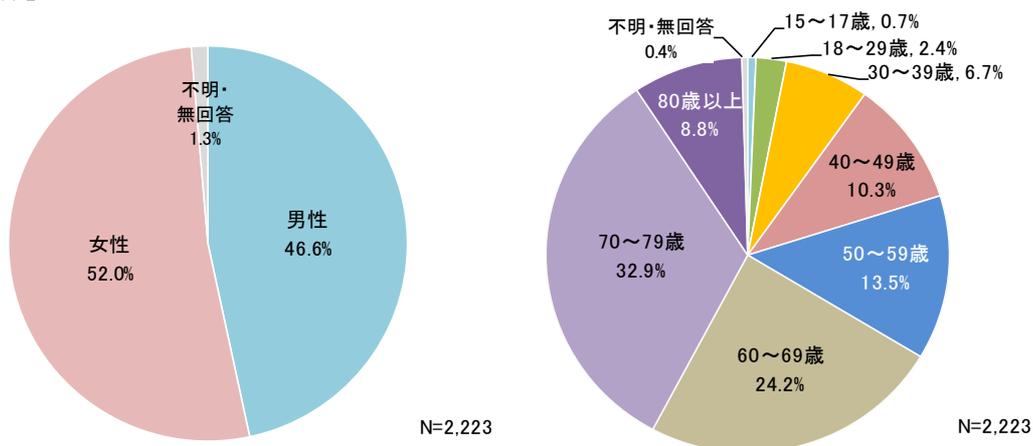
## 2 市民アンケート調査の結果概要

### 2.1 回答者の属性

#### ①性別・年齢・居住地

- 回答者の性別は「女性」が52.0%、「男性」が46.6%となっており、女性の割合が高い。
- 回答者の年齢は「70～79歳」が32.9%で最も多く、以下「60～69歳」(24.2%)、「50～59歳」(13.5%)と続いている。60歳以上をまとめると約66%、また70歳以上では約42%を占め、高齢者が多い。
- 回答者の居住地域は「三原地域」が53.1%で最も多く、次いで「本郷地域」(21.3%)となっている。

[市域全体]



[地域別]

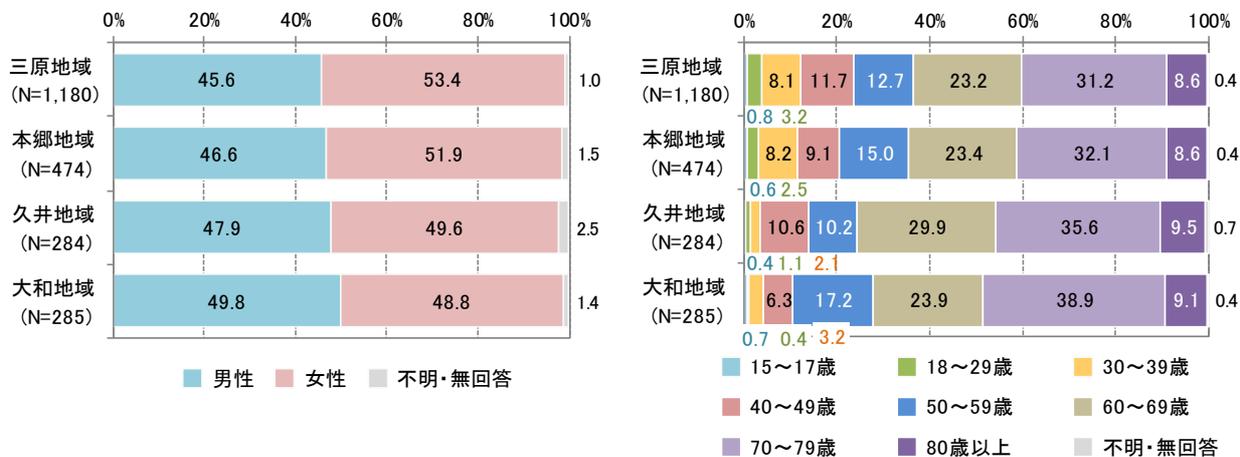
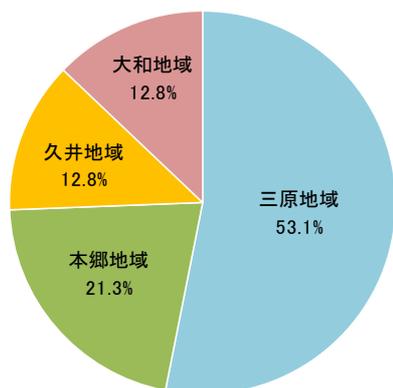


図 性別

図 年齢



N=2,223

図 居住地

③運転免許の保有状況

○回答者の運転免許保有状況は「自動車運転免許あり」が83.1%で最も多く、「バイク・原付のみ免許あり」(2.8%)を含めると、『免許保有』が約86%を占める。

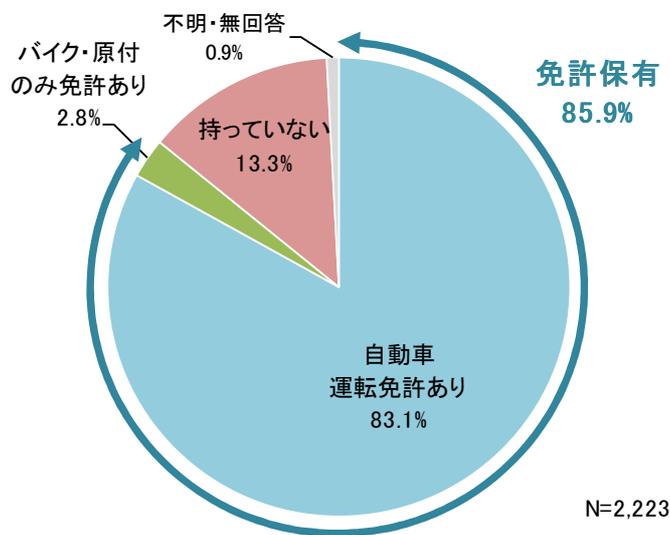


図 運転免許の保有状況

④自由に使える移動手段 (複数回答)

○回答者が自由に使える移動手段は「自動車」が80.0%で最も多く、次いで「自転車」(31.2%)となっており、「なし」は1割未満にとどまっている。

○地域別では、市北部の久井地域、大和地域で、他の2地域よりも「自動車」の回答割合が高い。また、三原地域、本郷地域では「自転車」の回答割合も比較的高く、その理由としては回答者が比較的若いことや、平坦な地域で、かつ生活施設などが居住地周辺に点在している地域特性が考えられる。

[市域全体]

[地域別]

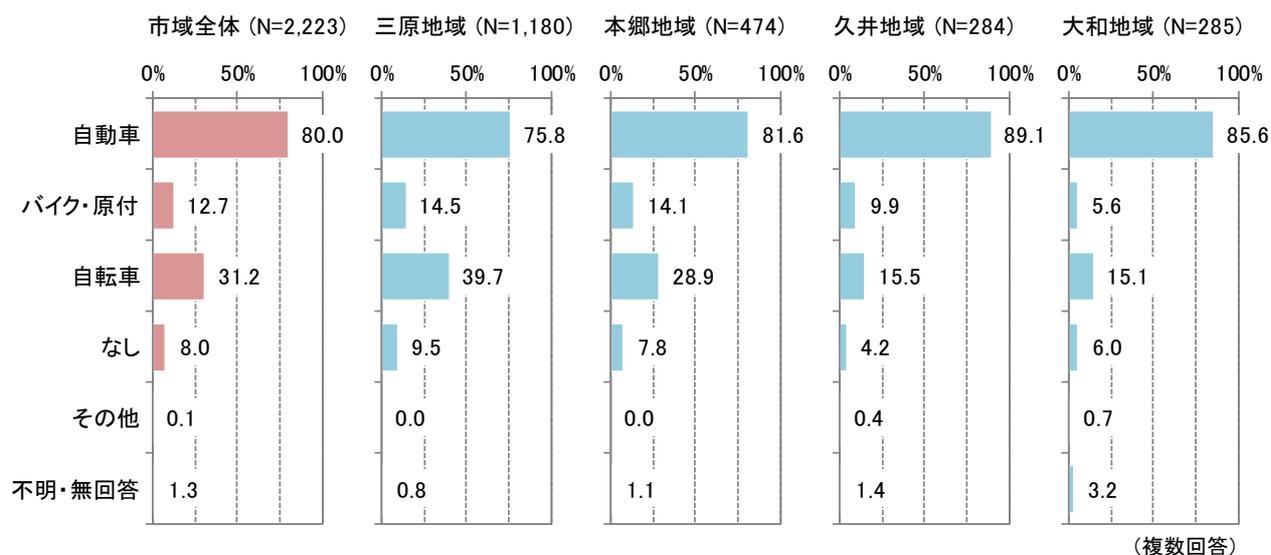


図 自由に使える移動手段

## 2.2 普段の外出について

### ① 普段の外出目的（複数回答）

○ 普段の外出目的は「生活必需品の買物」が71.0%で最も多く、以下「ショッピングや趣味・レジャー」（43.0%）、「通院」（36.8%）、「通勤」（34.7%）と続いている。

○ 地域別では「生活必需品の買物」に次いで、三原地域と本郷地域では「ショッピングや趣味・レジャー」、久井地域と大和地域では「通院」が多くなっている。

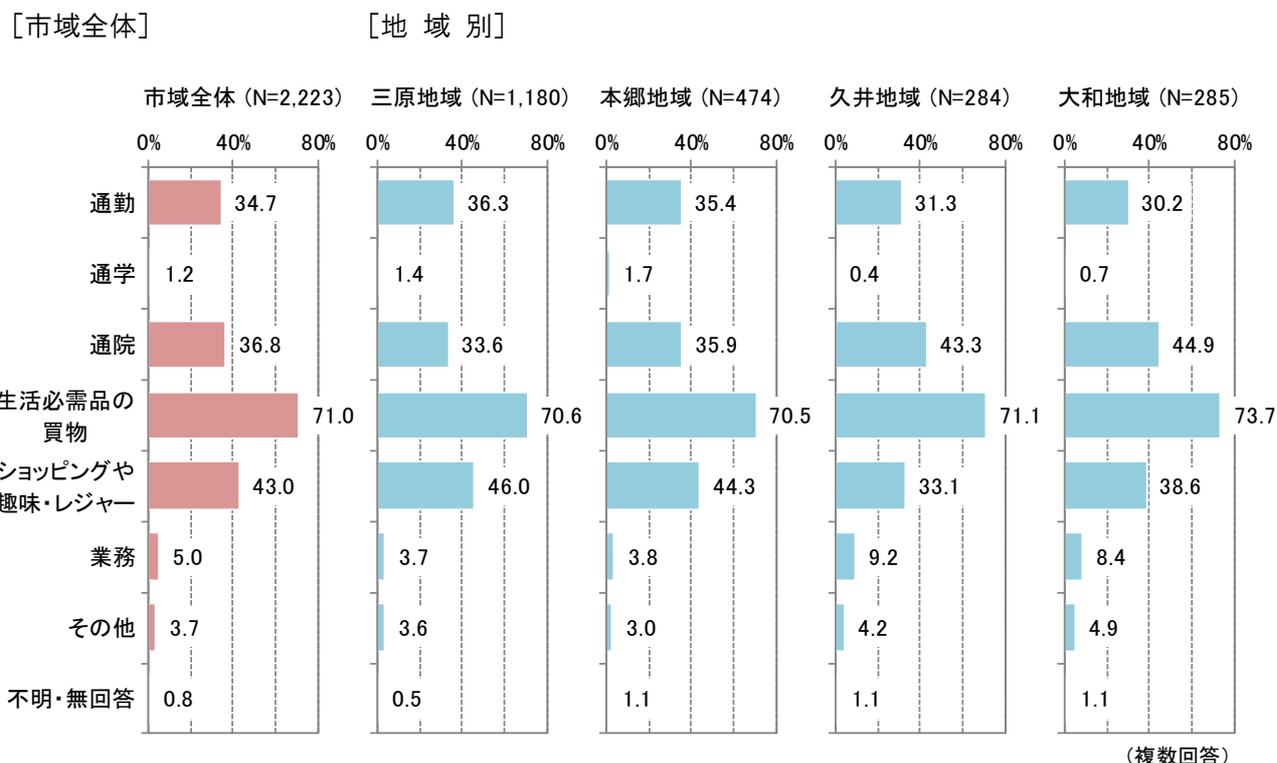


図 普段の外出目的

②外出するときの手段（複数回答）

○外出するときの手段は「自家用車（自分で運転）」（73.7%）を利用する割合が極めて高い。  
 ○「路線バス」の利用は約8%で、地域別では三原地域（11.7%）における利用が多い。  
 ○一方、『地域コミュニティ交通』の利用は、かなり少ない。

[市域全体]

[地域別]

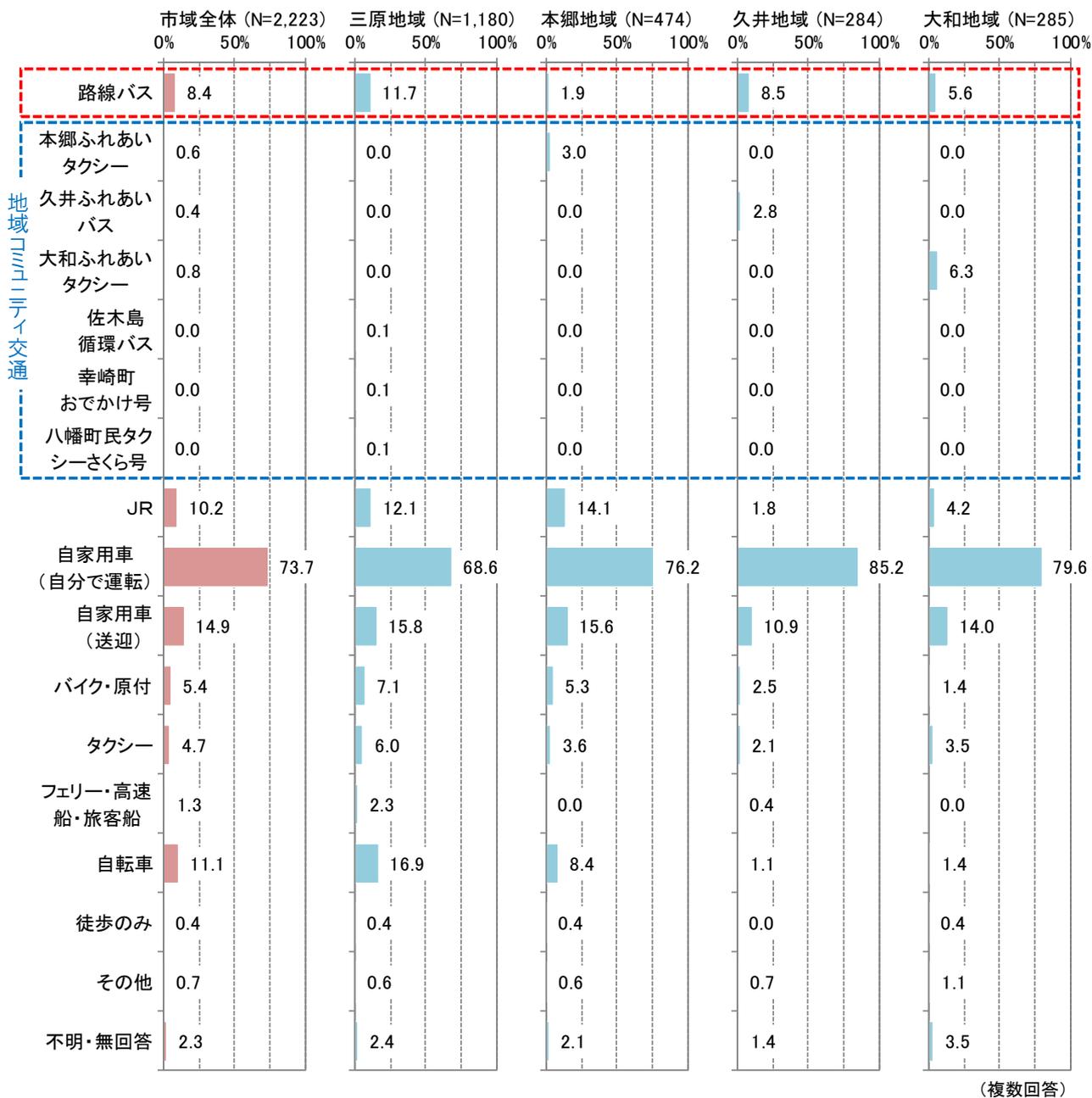


図 外出するときの手段

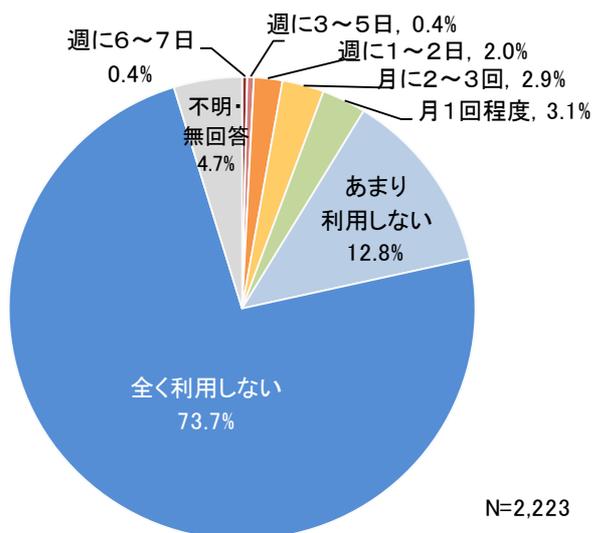
## 2.3 市内の路線バスの利用について

### ①路線バスの利用頻度

○路線バスの利用頻度は「全く利用しない」が73.7%を占めている。一方、週1日以上利用する回答者は2.8%にとどまる。

○平成26(2014)年度の結果と比較すると、「全く利用しない」が7.3ポイント増加する一方で、週1日以上利用は2.1ポイント減少しており、今回調査の方がやや利用頻度が低くなっている。

[市域全体]



[5年前と比較]

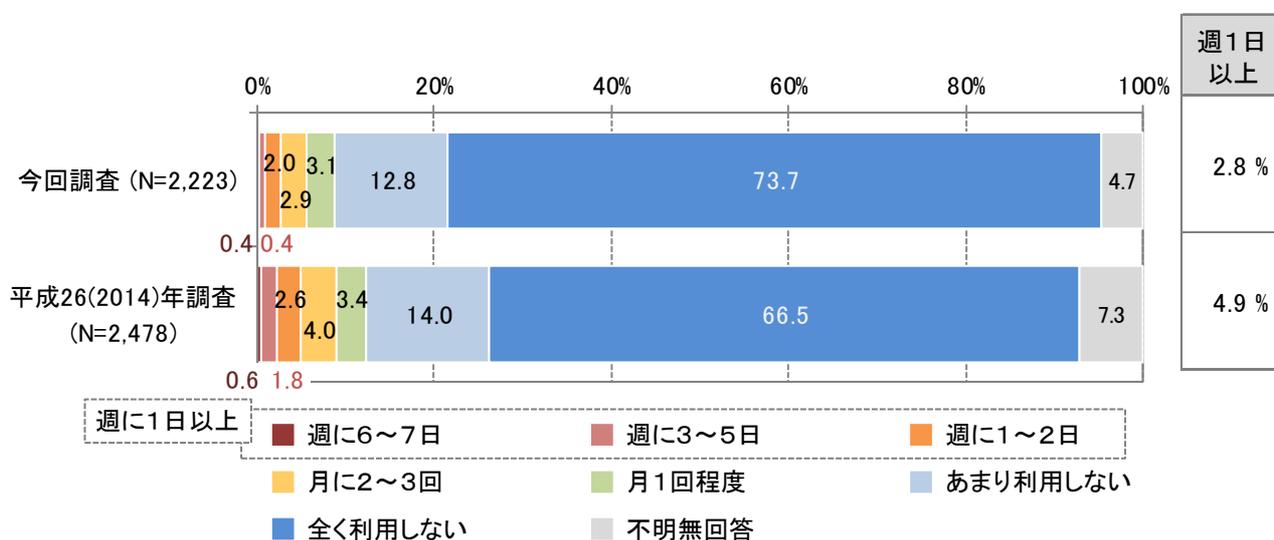


図 路線バスの利用頻度

②路線バスの利用目的（複数回答）<バスを利用する人のみ>

○路線バスの利用目的は「ショッピングや趣味・レジャー」が45.1%で最も多く、以下「通院」(31.1%)、「生活必需品の買物」(22.8%)と続いている。

○地域別では、久井地域(38.6%)、大和地域(38.1%)、本郷地域(35.0%)において3割以上が「通院」に利用している。また、大和地域では「生活必需品の買物」に利用している割合も3割以上となっている。

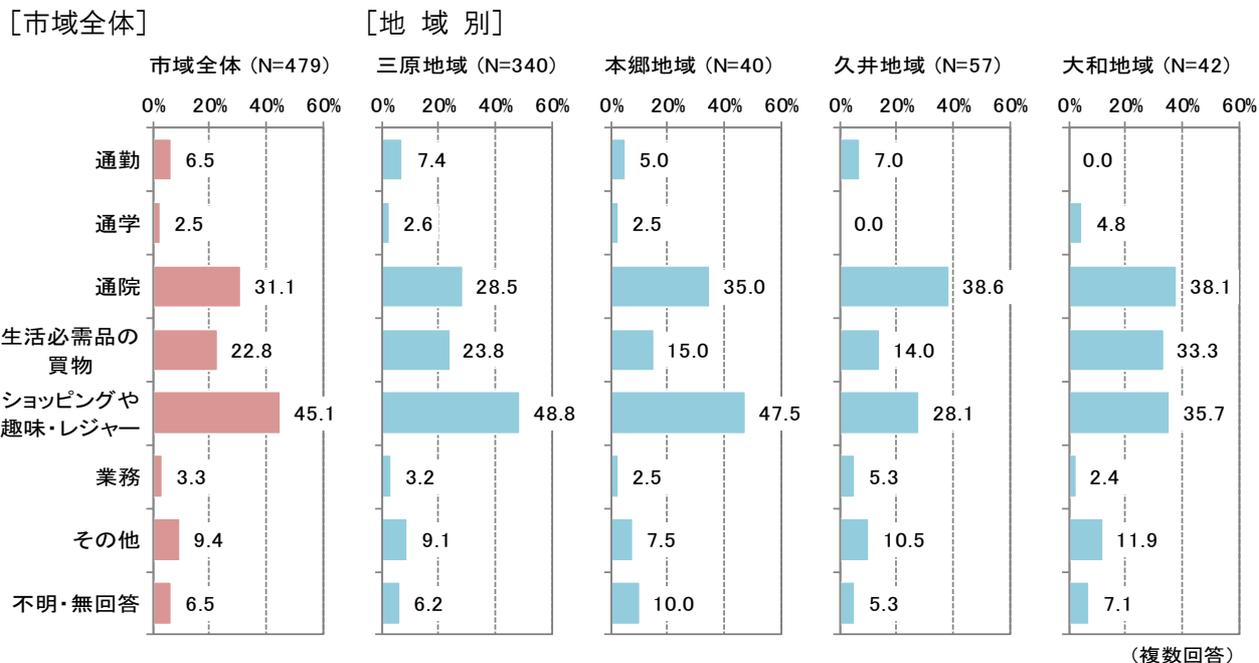


図 路線バスの利用目的

③三原市内のバス運行の満足度<バスを利用する人のみ>

○市内のバス運行の満足度は『不満』が35.9%を占め、『満足』(20.3%)を上回っている。

○地域別では、4地域ともに『不満』が『満足』を大幅に上回っており、満足度が低い状況にある。特に大和地域では『不満』の割合が約43%となっており、他の3地域と比べてその割合が高い。一方、『満足』の割合は、三原地域が22.1%で最も高く、次いで、久井地域が19.3%となっている。

○平成26(2014)年度の結果と比較すると、『不満』が9.9ポイント増加している一方で、『満足』は13.5ポイント減少しており、満足度が低下している。

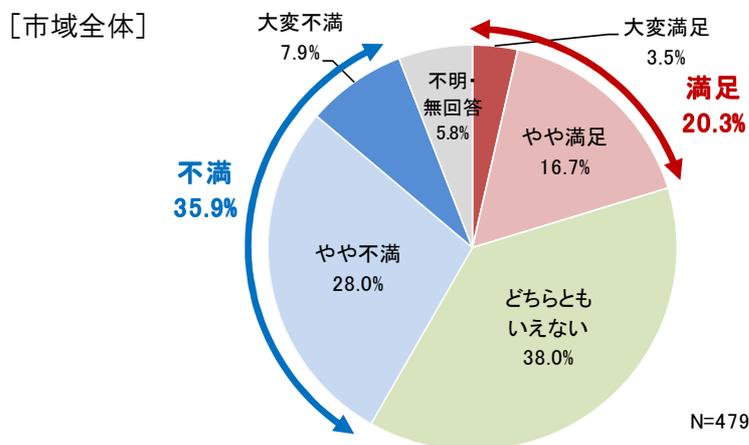
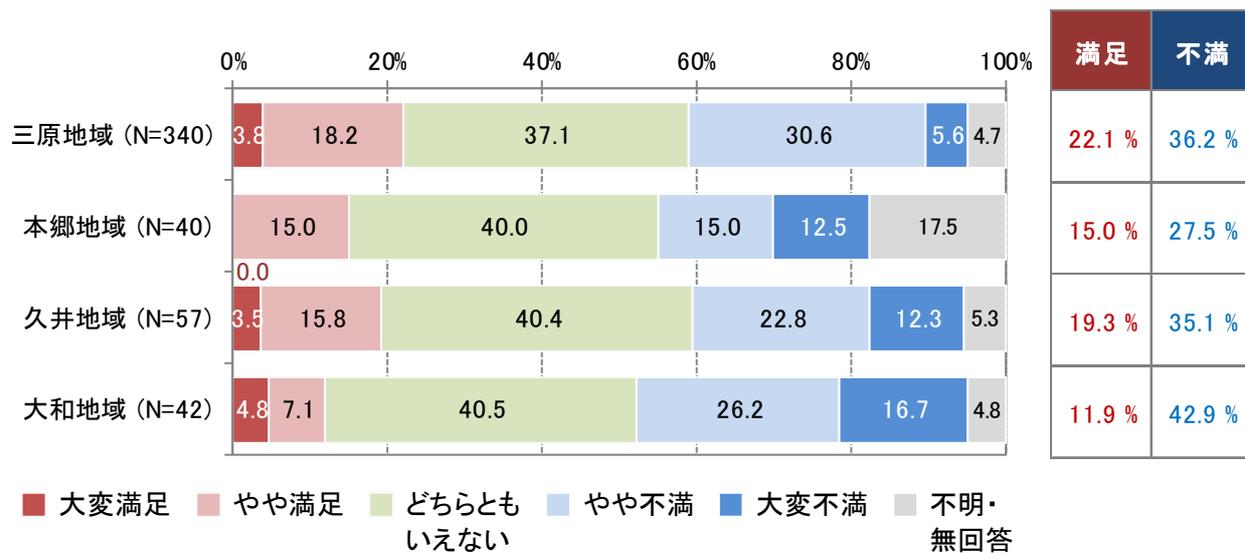


図 三原市内のバス運行の満足度

[地域別]



[5年前と比較]

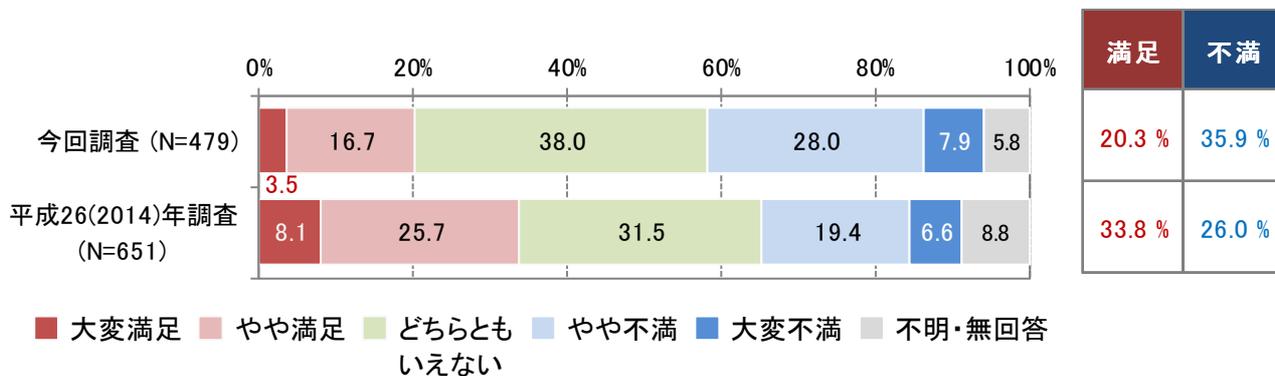


図 三原市内のバス運行の満足度

④路線バスを利用しにくいと感じる点（複数回答）

○路線バスを利用しにくいと感じる点は「バスの便数が少ない」が45.2%で最も多く、次いで「家からバス停が遠い」(21.7%)となっている。  
 ○地域別では、すべての地域で「バスの便数が少ない」が最も多く、特に久井地域においては約57%を占めている。また、大和地域では「家からバス停が遠い」の割合が他の3地域と比べて高い。

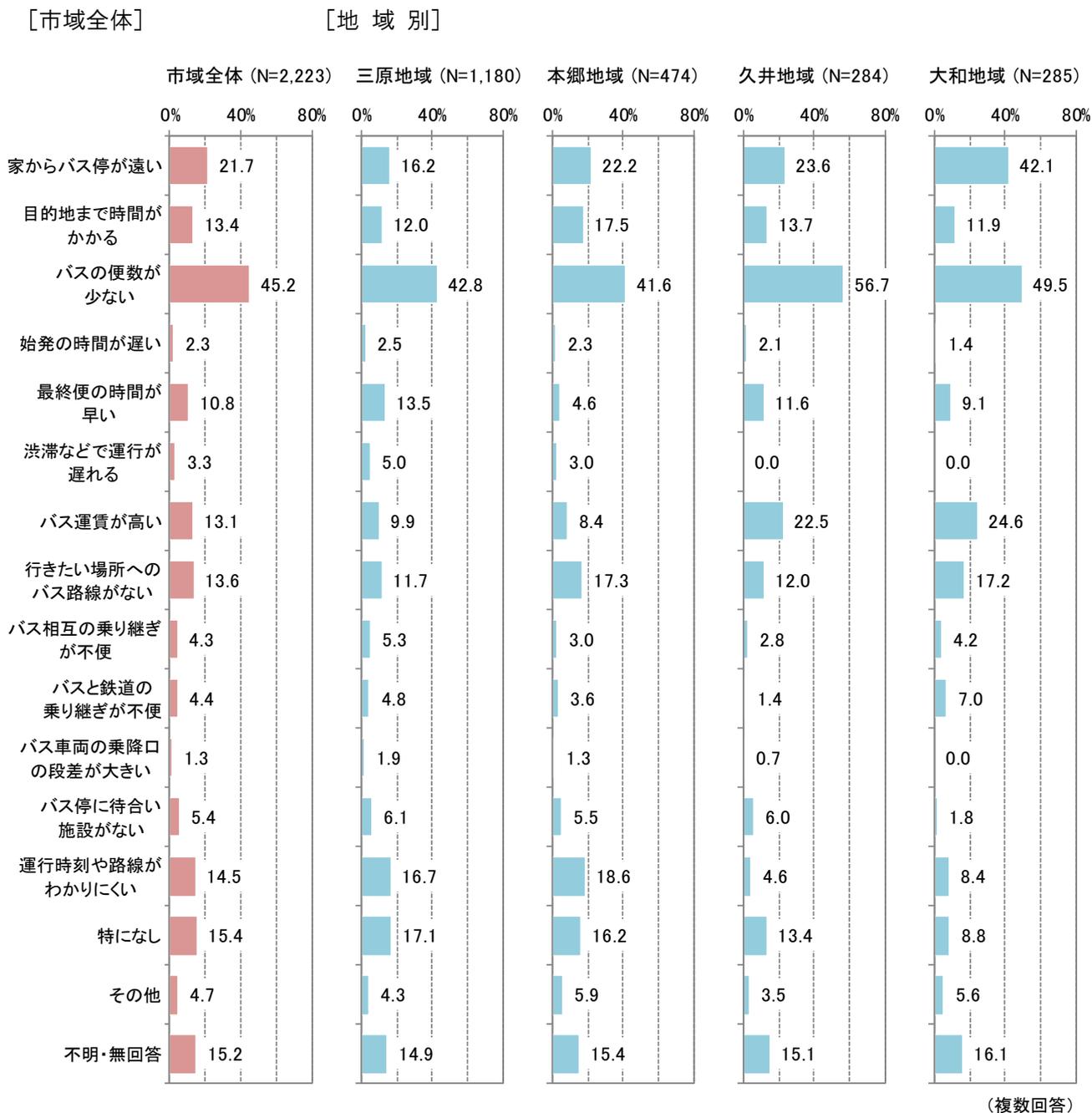
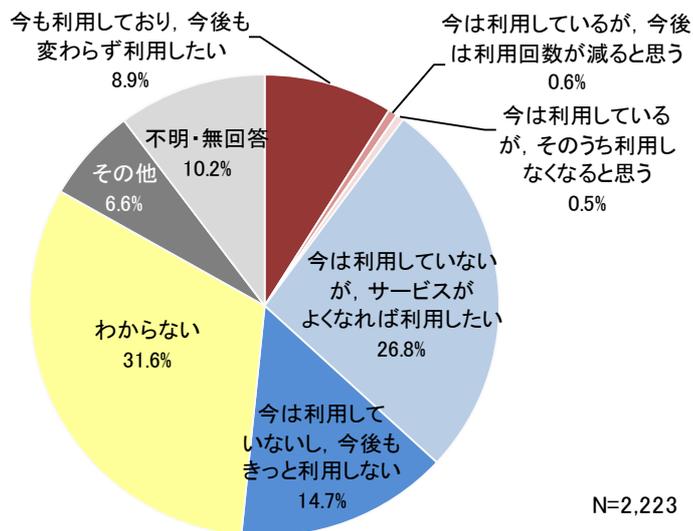


図 路線バスを利用しにくい点

⑤今後の路線バスの利用意向

○今後の路線バスの利用意向は「わからない」(31.6%)が最も多いものの、次いで「今は利用していないが、サービスがよくなれば利用したい」(26.8%)が多くなっている。  
 ○地域別では、本郷地域において、サービス水準が上がれば路線バスを利用したいと考える割合が他の3地域よりもやや高い。

[市域全体]



[地域別]

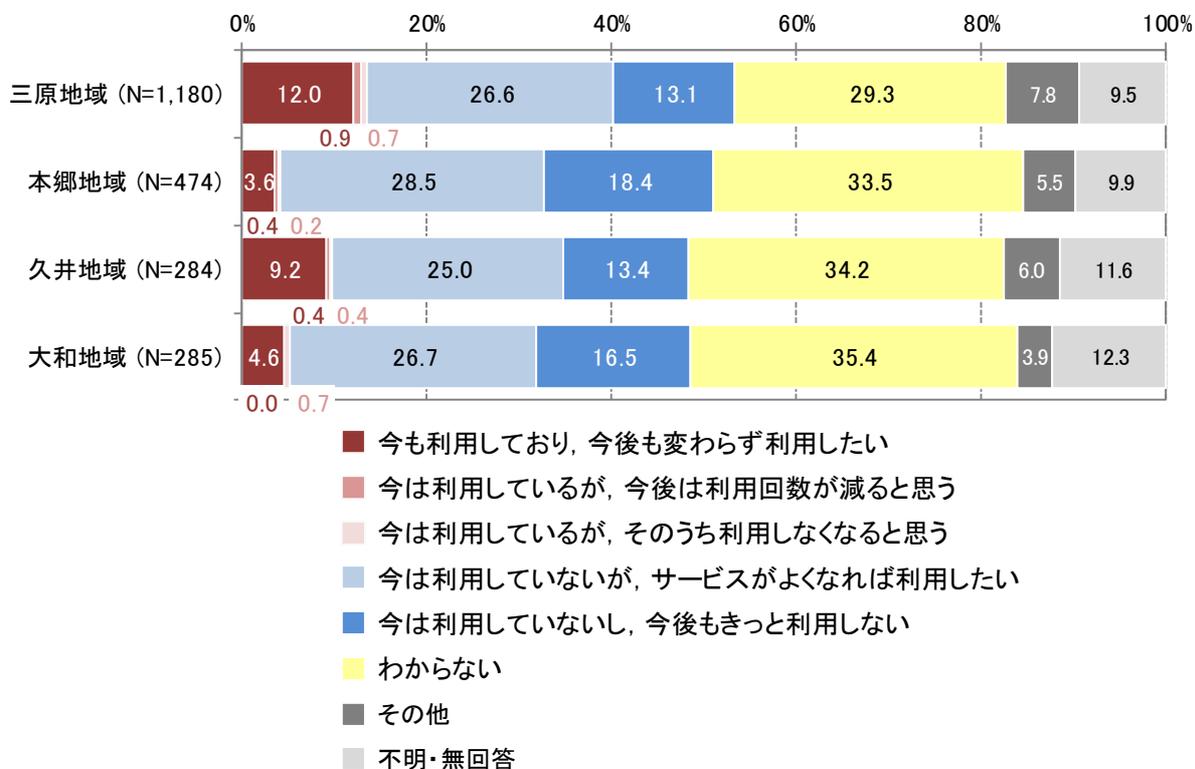


図 今後の路線バスの利用意向

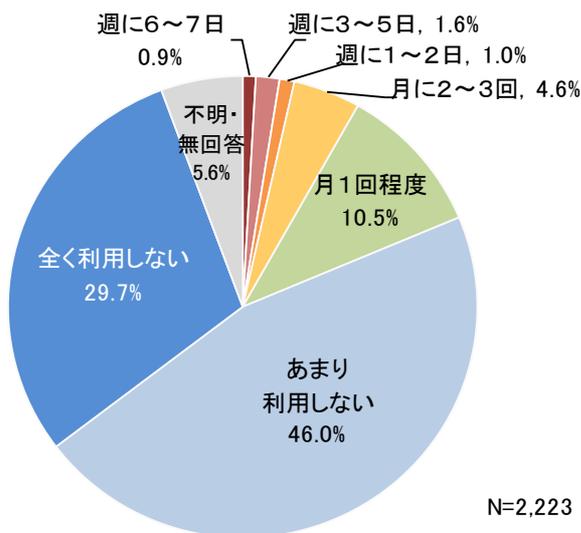
## 2.4 市内発着のJR・航路の満足度について

### ①三原市内発着のJRの利用頻度

○JRの利用頻度は「あまり利用しない」が46.0%で最も多く、次いで「全く利用しない」が29.7%となっている。週1日以上利用する回答者は3.6%にとどまる。

○平成26(2014)年度の結果と比較すると、「全く利用しない」が4.5ポイント増加する一方で、週1日以上利用は0.5ポイント減少しており、今回調査の方がやや利用頻度が低くなっている。

[市域全体]



[5年前と比較]

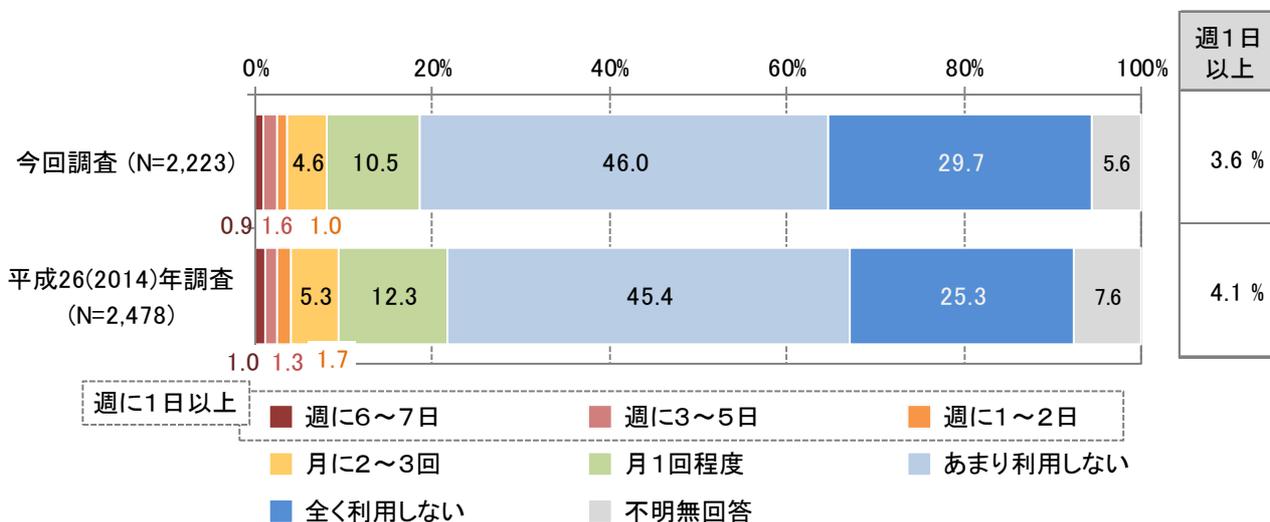


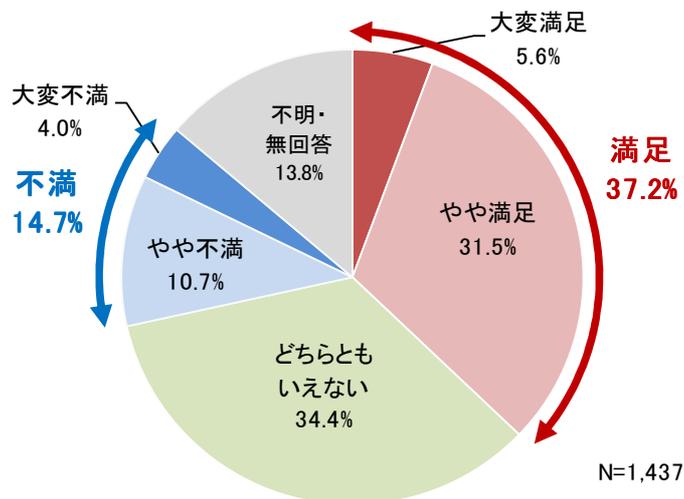
図 三原市内発着のJRの利用頻度

②運行や駅施設の満足度<JRを利用する人のみ>

○運行や駅施設の満足度は「どちらともいえない」が34.4%で最も多いものの、『満足』(37.2%)が『不満』(14.7%)を上回っている。

○平成26(2014)年度の結果と比較すると、『満足』が4.7ポイント増加している一方で、『不満』も2.3ポイントも増加している。

[市域全体]



[5年前と比較]

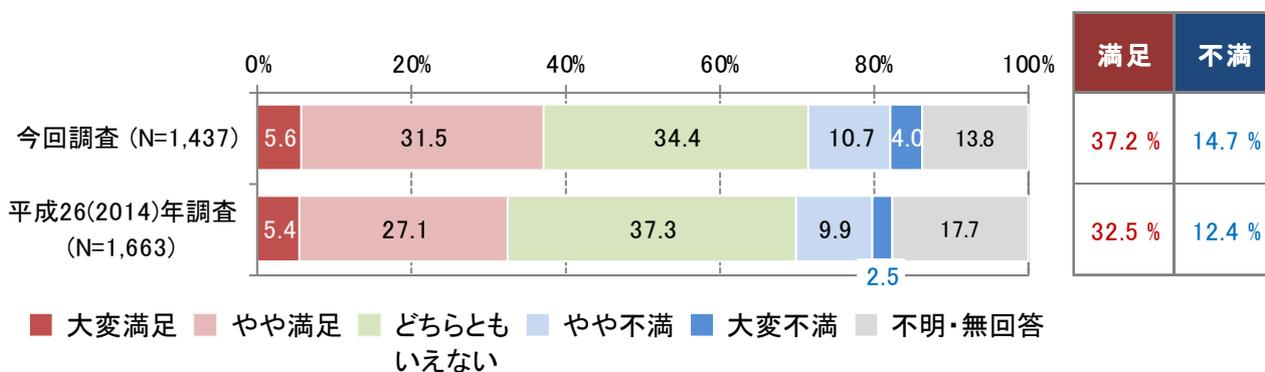


図 運行や駅施設の満足度

<市民>

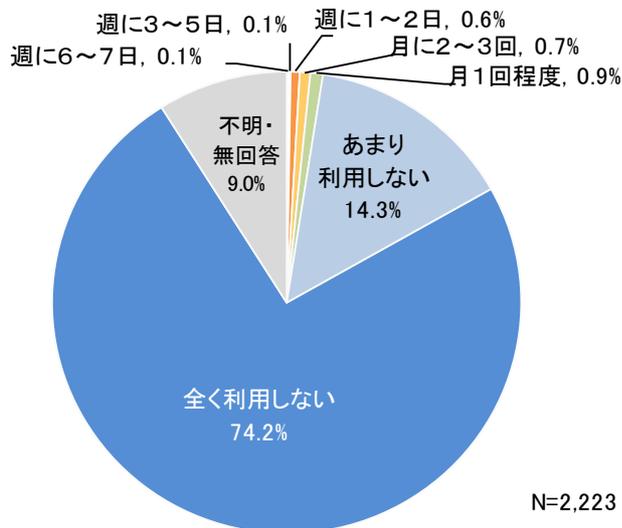
[不満の内容(自由意見より)] ※のべ件数 2 件以上

<p>運行(在来線)に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行本数が少ない(60)</li> <li>・糸崎駅止まりが多い(22)</li> <li>・白市駅止まりが多い(10)</li> <li>・鈍行しかなく所要時間が長い(9)</li> <li>・三原駅止まりが多い(4)</li> <li>・終電が早い(3)</li> <li>・混雑して座れない(3)</li> <li>・駅まで遠い(3)</li> <li>・遅延する(2)</li> <li>・長谷付近に駅がほしい(2)</li> <li>・駅間が長い(2)</li> </ul>	<p>料金に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃が高い(5)</li> </ul>
		<p>駅構内に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー関連(21)</li> <li>・トイレ関連[ない・狭い・設備不十分等](8)</li> <li>・待合い施設関連[施設がない・設備不十分等](5)</li> <li>・清掃が行き届いていない(2)</li> </ul>
<p>運行(新幹線)に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行本数が少ない(13)</li> <li>・こだましか停車しない(10)</li> <li>・通過待ちが多く時間がかかる(2)</li> </ul>	<p>駅周辺に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場がない・狭い(14)</li> <li>・駐車場料金が安い(7)</li> <li>・駅施設・周辺に活気がない(6)</li> <li>・商業施設等がない(5)</li> <li>・無料の駐輪場がない(3)</li> <li>・バス停・タクシー乗り場が駅から遠い(3)</li> <li>・ロータリーが狭い(2)</li> </ul>
<p>乗り継ぎに関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道相互の乗り継ぎが不便(9)</li> <li>・新幹線と在来線の乗り継ぎが不便(11)</li> <li>・糸崎駅での乗り継ぎが不便(6)</li> <li>・鉄道とバスの乗り継ぎが不便(3)</li> <li>・乗り継ぎが多い(2)</li> </ul>		

③三原市内発着の航路の利用頻度

○市内発着の航路の利用頻度は「全く利用しない」が74.2%を占めている。一方、月1回程度以上利用する回答者は2.5%にとどまる。  
 ○平成26(2014)年度の結果と比較すると、「全く利用しない」が8.8ポイント増加する一方で、月1回程度以上利用は同程度となっている。

[市域全体]



[5年前と比較]

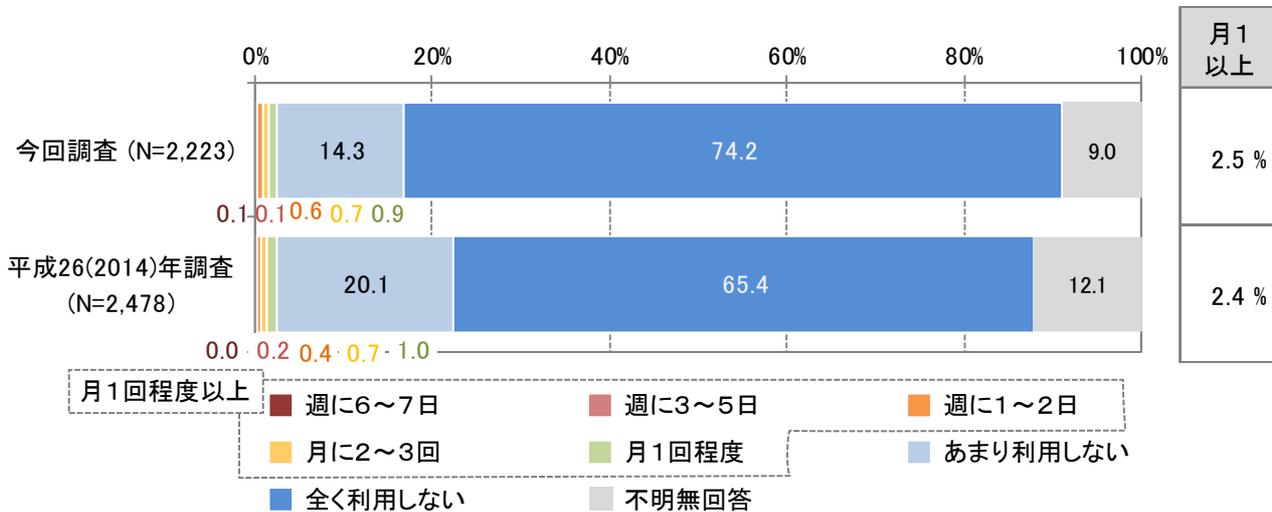


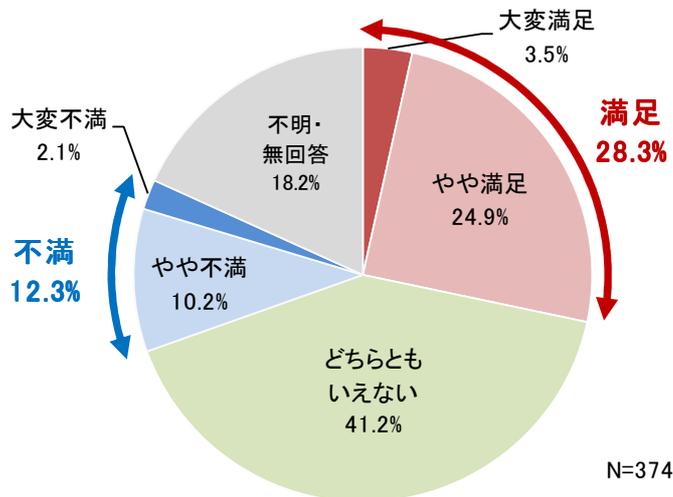
図 三原市内発着の航路の利用頻度

<市民>

④フェリー・高速船・旅客船や港施設の満足度<航路を利用する人のみ>

○フェリー・高速船・旅客船や港施設の満足度は「どちらともいえない」が41.2%で最も多いものの、『満足』(28.3%)が『不満』(12.3%)を上回っている。  
 ○平成26(2014)年度の結果と比較すると、『満足』が9.6ポイント増加している一方で、『不満』も4.8ポイント増加している。

[市域全体]



[5年前と比較]

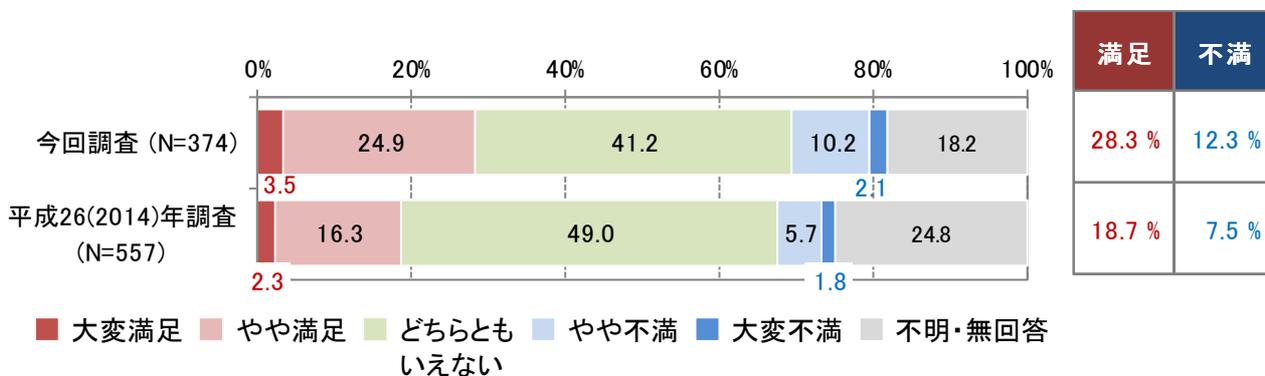


図 フェリー・高速船・旅客船や港施設の満足度

[不満の内容(自由意見より)] ※のべ件数2件以上

運行に関すること	・便数が少ない(26) ・最終便が早い(3)
料金に関すること	・運賃が高い(7) ・同乗者を無料化してほしい(2)
船に関すること	・小さい(2)
停泊施設に関すること	・待合い施設関連[トイレや待合い施設が不十分](2)
乗務員に関すること	・接客が良くない(2)
停泊地周辺に関すること	・商業施設などが無い(3) ・乗り場への誘導表示がわかりにくい(2)

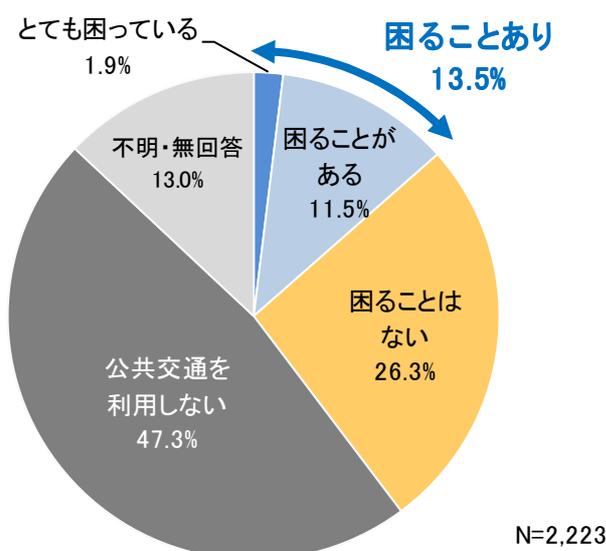
## 2.5 市内の公共交通の問題などについて

### ①市内の公共交通での移動に関して困ることの有無

○市内の公共交通での移動に関して困ることは『困ることあり』（「とても困っている」と「困ることがある」の合計，以下同じ）と回答した割合は13.5%となっている。一方、「困ることはない」は26.3%である。

○地域別では，三原地域においては「困ることはない」が29.6%となっており，他の3地域と比べてその割合が高い。一方，『困ることあり』と回答した割合は三原地域と大和地域で約15%，本郷地域と久井地域で約10%となっている。

[市域全体]



[地域別]

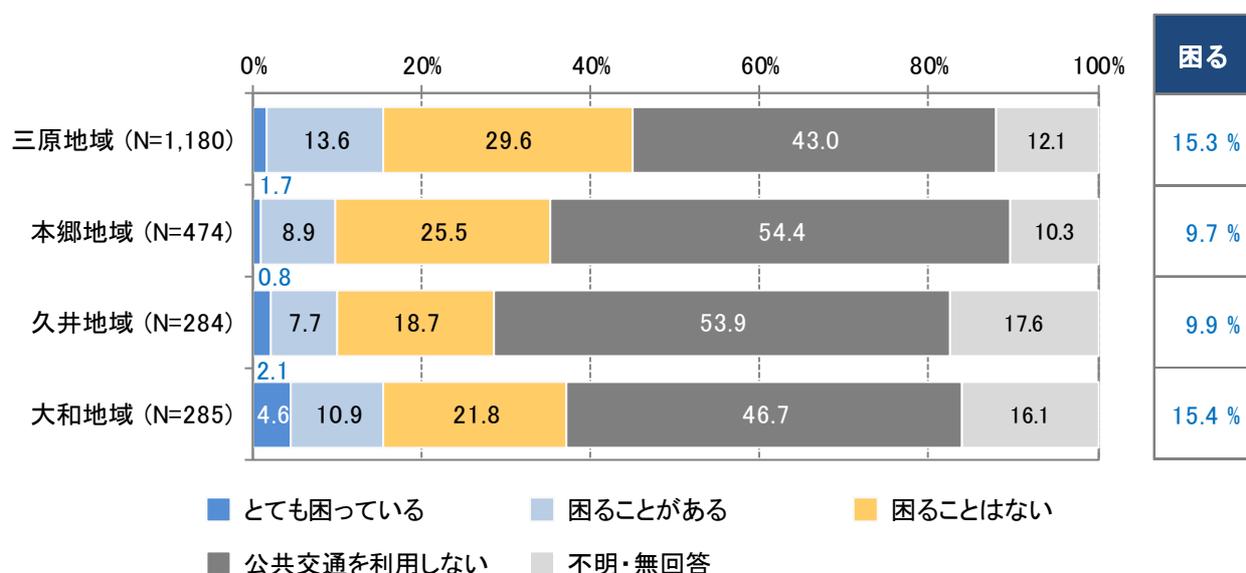


図 市内の公共交通での移動に関して困ることの有無

②困ることがある公共交通<困ることがある人のみ>

○困ることがある公共交通は「路線バス」が74.6%と大半を占めている。  
 ○市域全体では『地域コミュニティ交通』の割合は低いですが、地域別で見ると、大和地域では「大和ふれあいタクシー」(27.3%)、本郷地域では「本郷ふれあいタクシー」(19.6%)、久井地域では「久井ふれあいバス」(14.3%)もあげられている。

[市域全体]

[地域別]

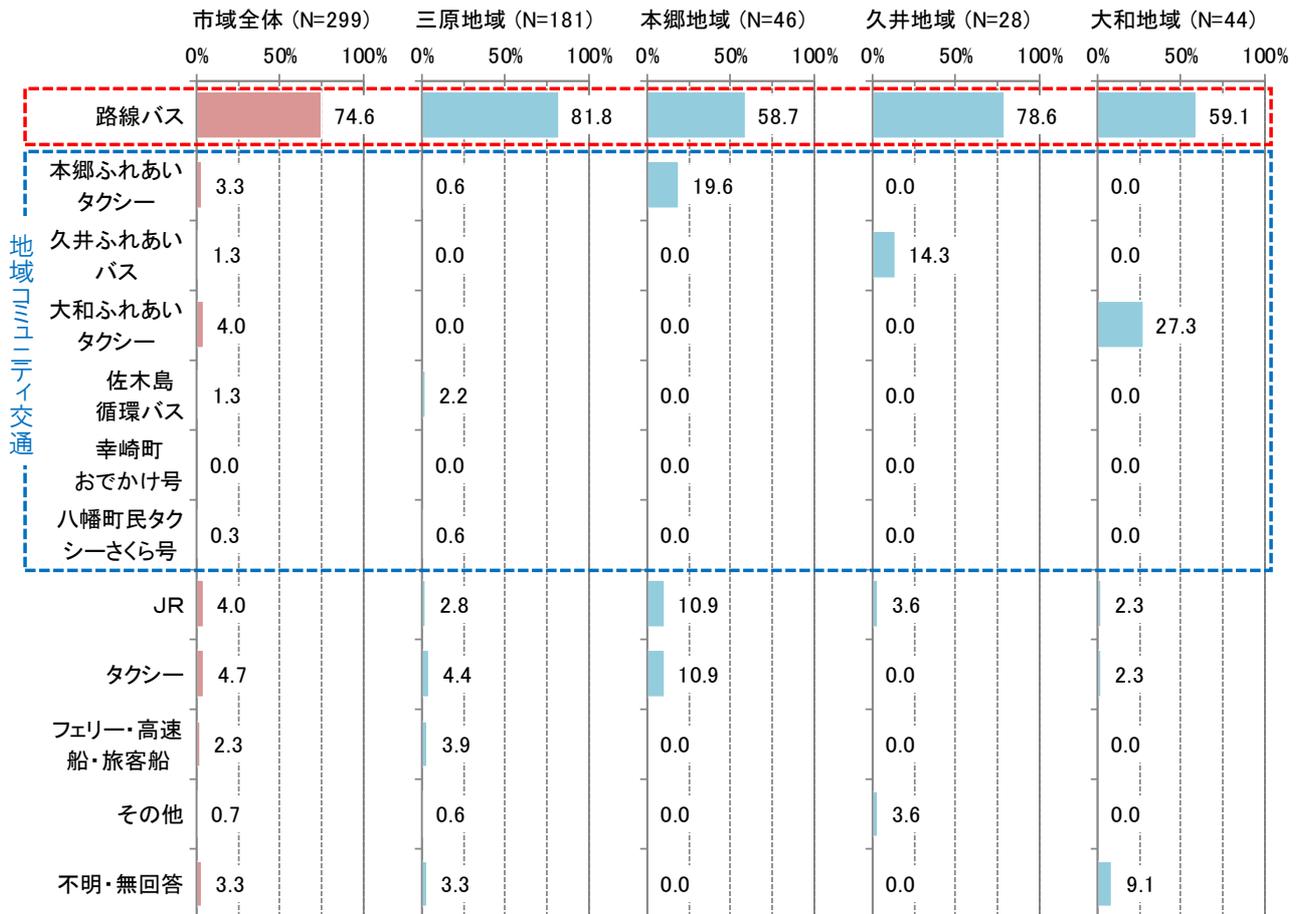


図 困ることがある公共交通

③どこに行く時に困ることが多いか（複数回答） <困ることがある人のみ>

○どこに行く時に困ることが多いかは「駅」が42.8%で最も多く、以下「病院」(39.1%)、「買物施設」(25.4%)と続いている。

○地域別では、すべての地域で「駅」と「病院」が上位2つを占めているが、特に本郷地域では「駅」が5割以上とその割合が高い。

[市域全体]

[地域別]

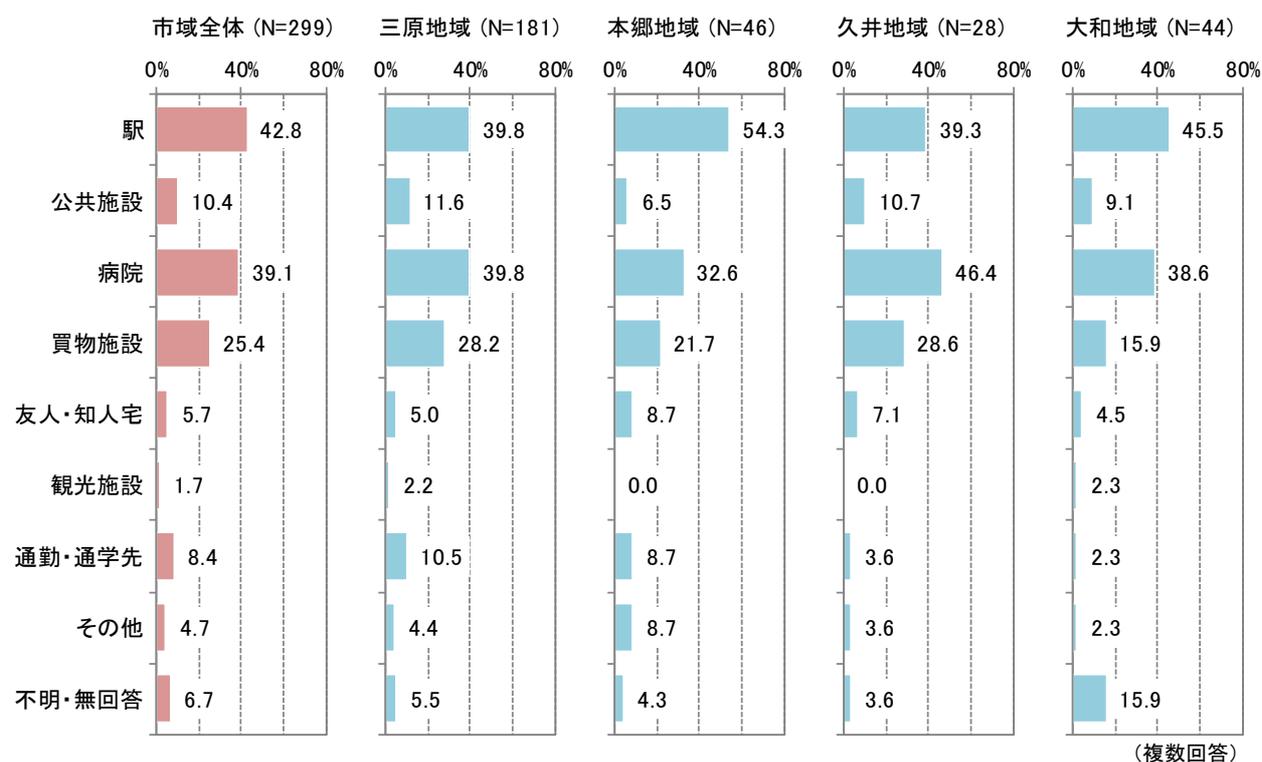


図 どこに行く時に困ることが多いか

④その施設まで行く時の問題（複数回答）<困ることがある人のみ>

○その施設まで行く時の問題は「路線はあるが本数がない」が52.8%で最も多く、以下「その施設へ直接行ける路線などが自宅近くを通っていない」(24.1%)、「土・日・祝日に運行していない」(21.4%)と続いており、運行本数・日の少なさを問題点としてあげる割合が高い。

○地域別では、大和地域において「土・日・祝日に運行していない」が43.2%となっており、他の3地域と比べてその割合が高い。

[市域全体]

[地域別]

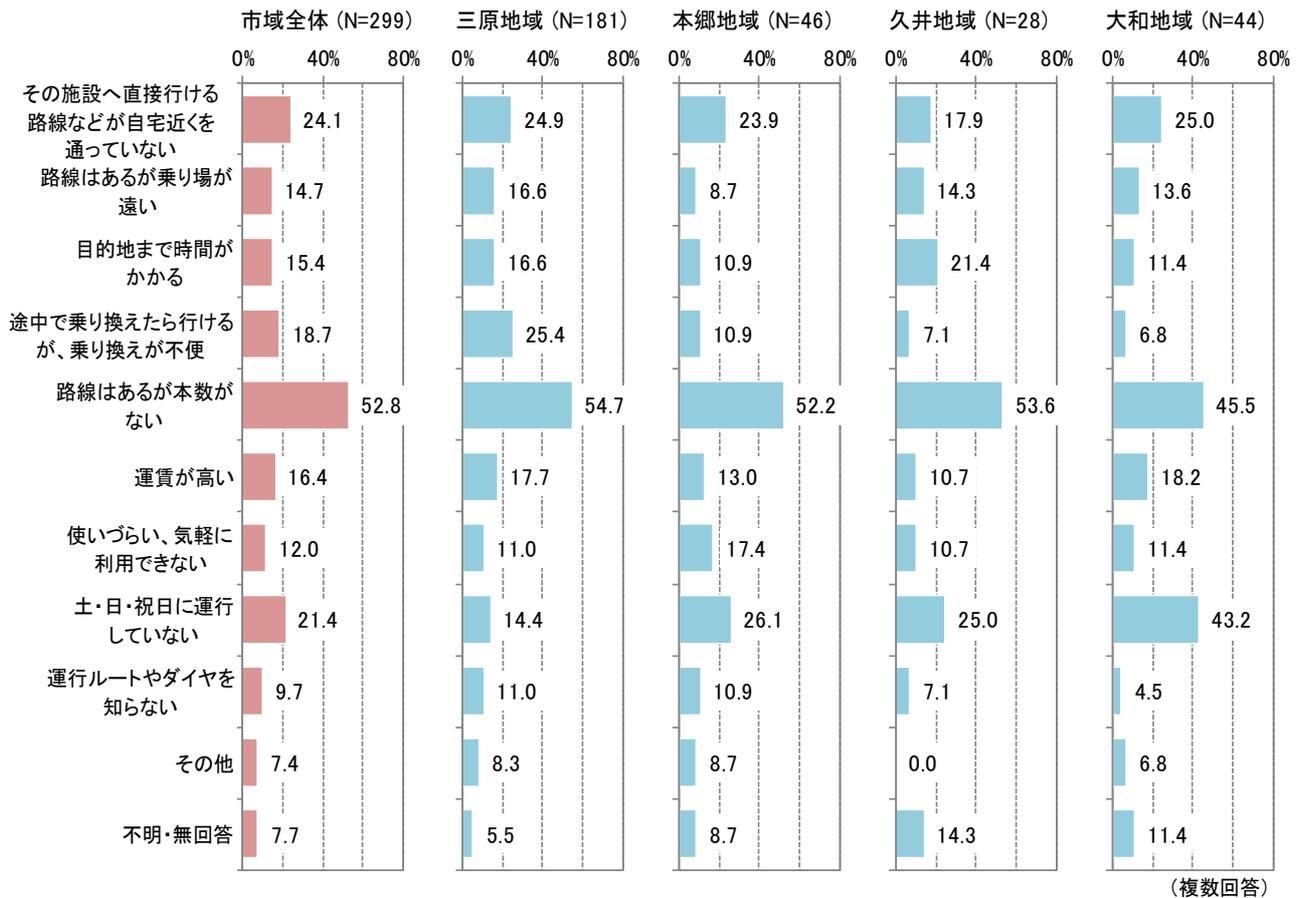


図 その施設まで行く時の問題

## 2.6 地域コミュニティ交通について【本郷・久井・大和地域のみ】

### ①地域コミュニティ交通の利用有無と利用しなかった理由

○地域コミュニティ交通の利用有無について、「利用したことがある」と回答した割合は、本郷地域では4.4%、久井地域では3.5%にとどまっている。大和地域では12.6%となっており、他の2地域と比べて利用率が高い。

○利用しなかった理由は、3地域ともに「使う必要がない(車など、他に便利な手段がある)」が大半を占めている。

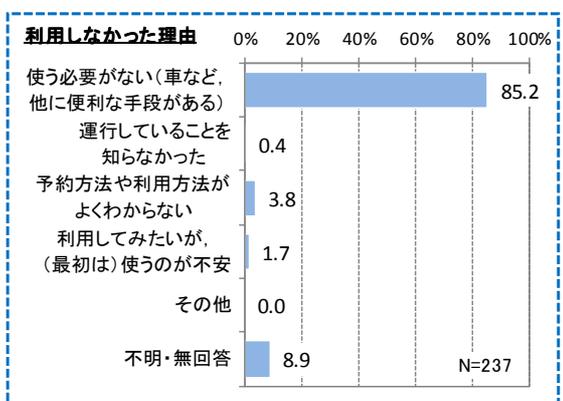
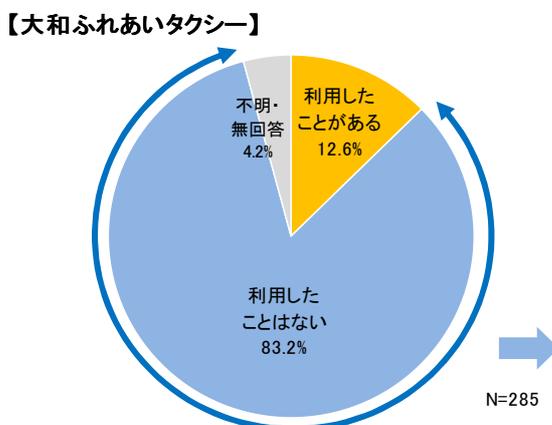
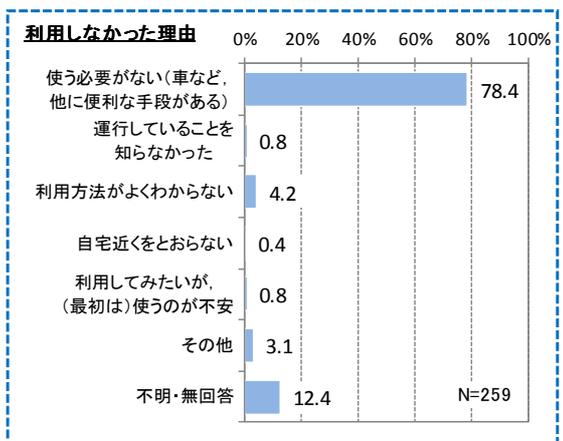
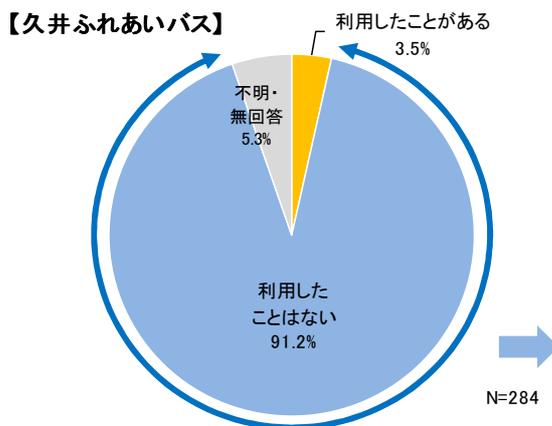
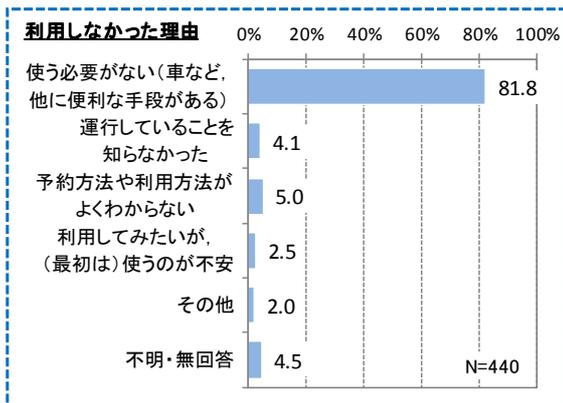
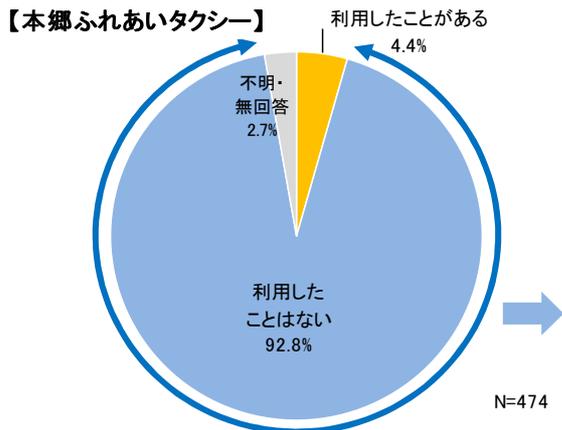
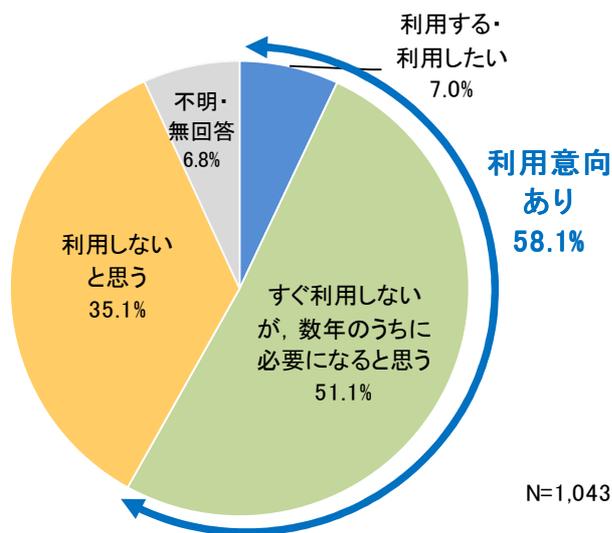


図 地域コミュニティ交通の利用有無と利用しなかった理由

②今後の地域コミュニティ交通の利用意向

○今後の地域コミュニティ交通の利用意向は「すぐに利用しないが、数年のうちに必要になると思う」(51.1%)が最も多く、「利用する・利用したい」(7.0%)と合わせると『利用意向あり』が約6割を占める。  
 ○地域別では、3地域ともに『利用意向あり』が過半数を占め、特に大和地域では約67%と高くなっている。

[市域全体(3地域)]



[地域別]

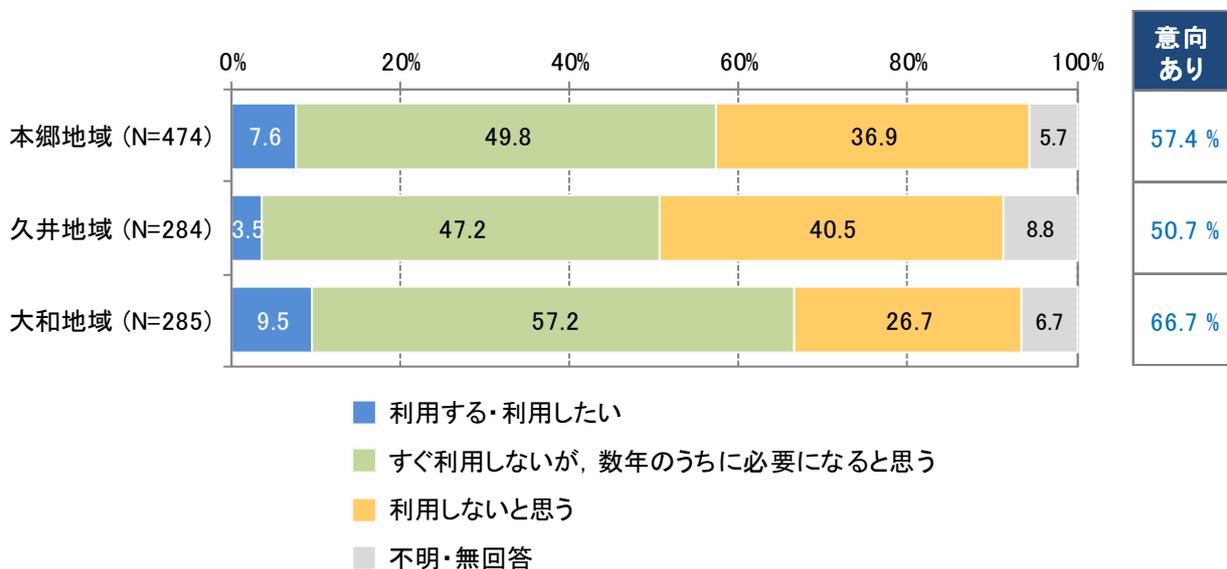


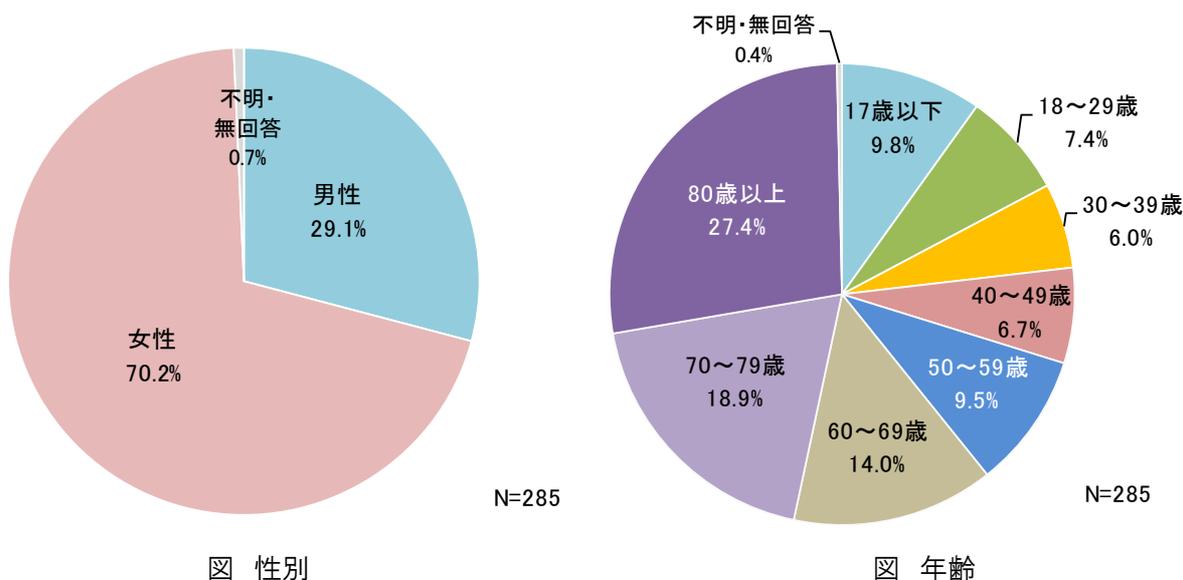
図 今後の利用意向

### 3 路線バス利用者アンケート調査の結果概要

#### 3.1 回答者の属性

##### ①性別・年齢

○回答者の性別は「女性」が70.2%、「男性」が29.1%となっており、女性の割合が高い。  
 ○回答者の年齢は「80歳以上」が27.4%で最も多く、以下「70～79歳」(18.9%)、「60～69歳」(14.0%)と続いている。60歳以上をまとめると約60%、また70歳以上では約46%を占め、高齢者が多い。



#### 3.2 普段の路線バスの利用実態

##### ①路線バスの利用目的 (複数回答)

○路線バスの利用目的は「通院」が31.6%で最も多く、以下「生活必需品の買物」(29.5%)、「通勤」(28.1%)と続いている。

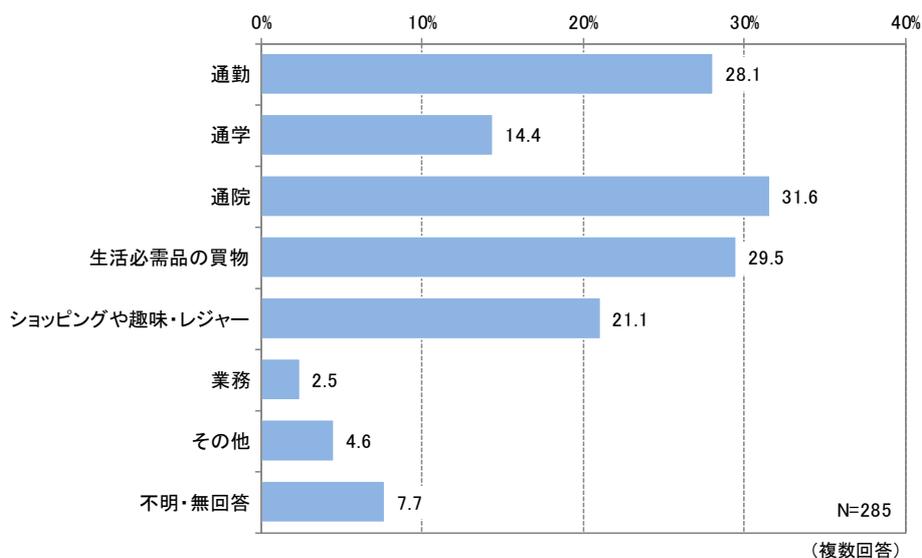


図 路線バスの利用目的

### 3.3 路線バスの満足度や問題点

#### ①三原市内の路線バスの満足度

○市内の路線バスの満足度は『満足』が42.1%を占め、『不満』(30.2%)を上回っている。  
 ○平成26(2014)年度の結果と比較すると、『不満』が8.5ポイント増加している一方で、『満足』は6.3ポイント減少しており、満足度が低下している。

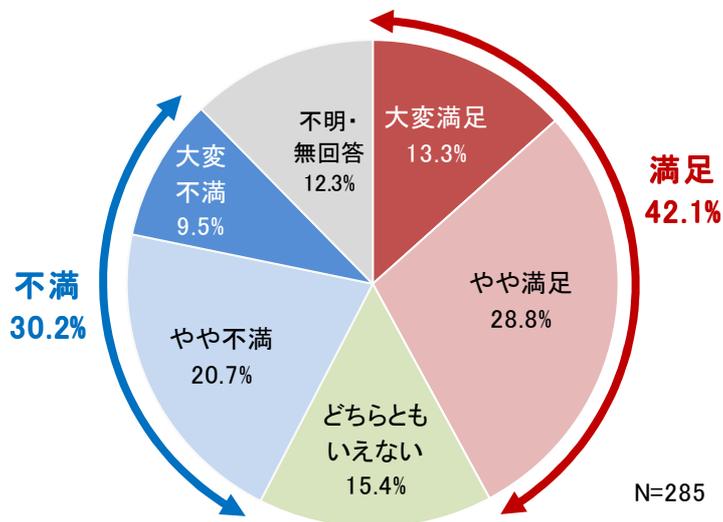


図 市内の路線バスの満足度

[5年前と比較]

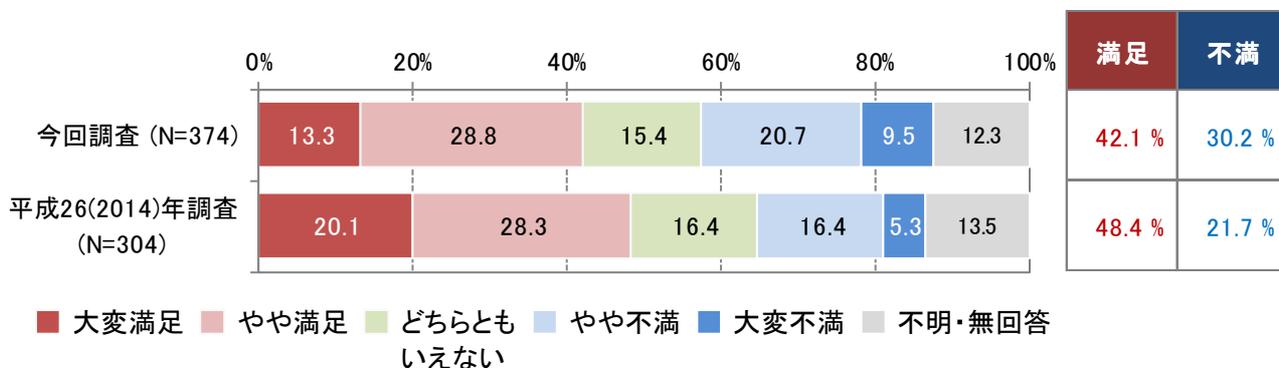


図 市内の路線バスの満足度

②路線バスを利用しにくいと感じる点（複数回答）

○路線バスを利用しにくいと感じる点は「バスの便数が少ない」が58.6%で最も多く、次いで「最終便の時間が早い」が24.9%となっている。

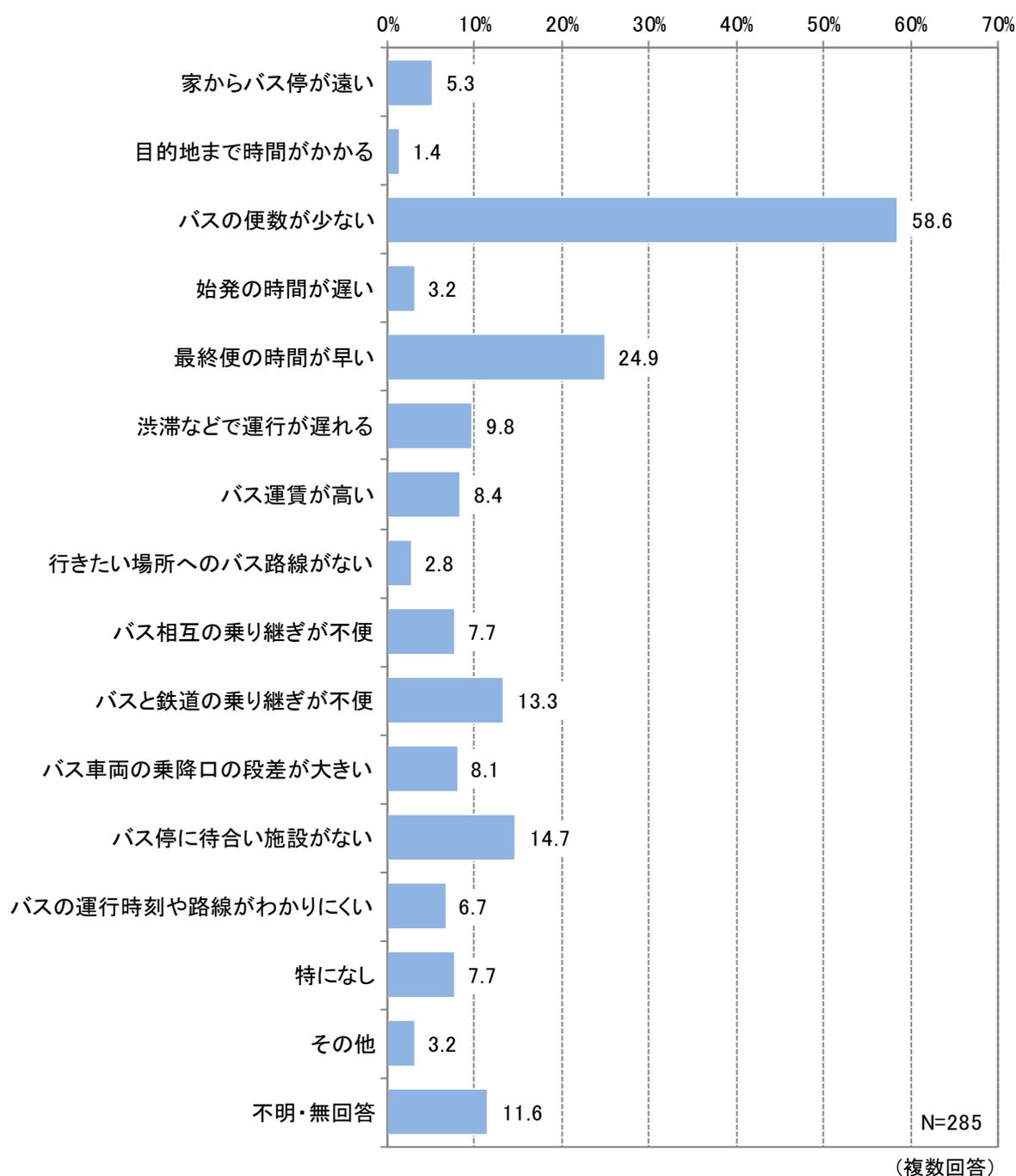


図 路線バスを利用しにくいと感じる点

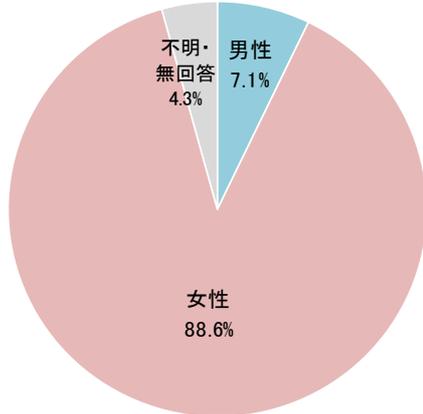
## 4 地域コミュニティ交通利用者アンケート調査の結果概要

### 4.1 回答者の属性

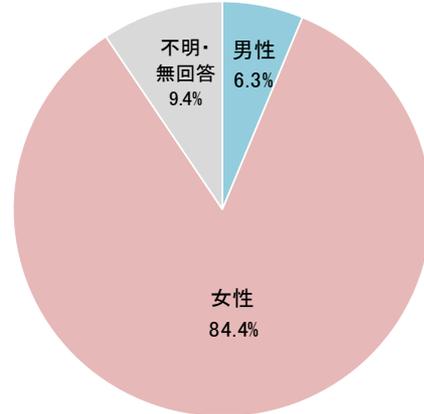
#### ①性別

○回答者の性別はすべての地域コミュニティ交通で「女性」の割合が高くなっている。

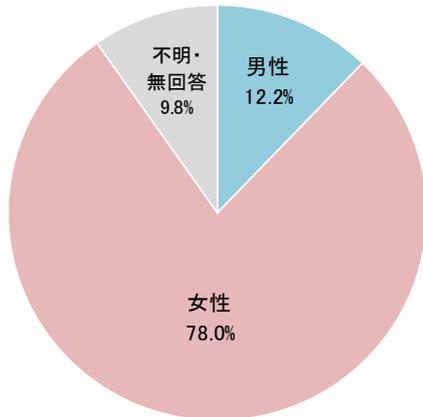
[本郷ふれあいタクシー]



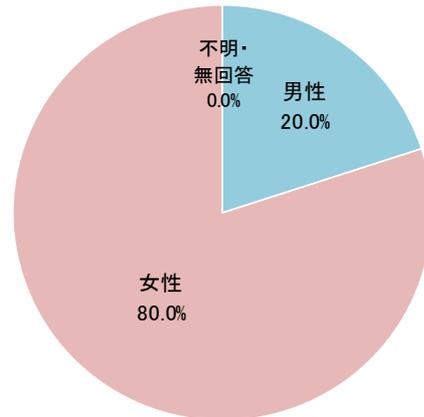
[久井ふれあいバス]



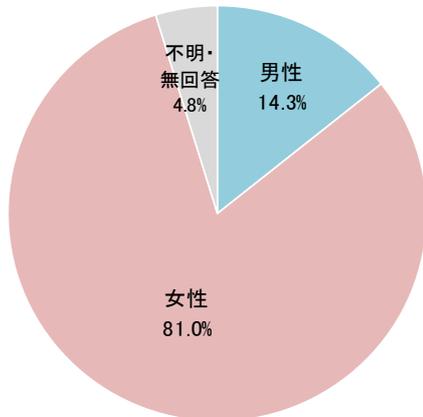
[大和ふれあいタクシー]



[佐木島循環バス]



[幸崎町おでかけ号]



[八幡町民タクシーさくら号]

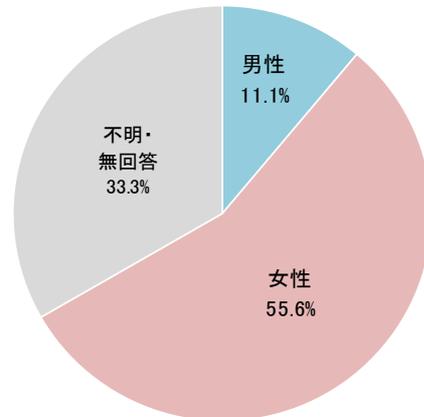


図 性別

②年齢

○回答者の年齢はすべて地域コミュニティ交通で「80歳以上」の割合が高く、特に[久井ふれあいバス]では8割以上を占めている。

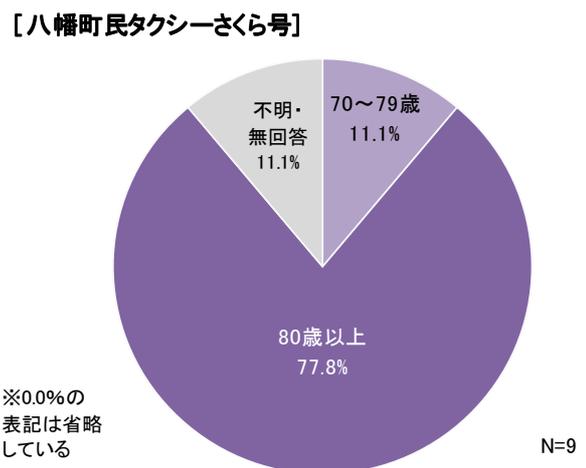
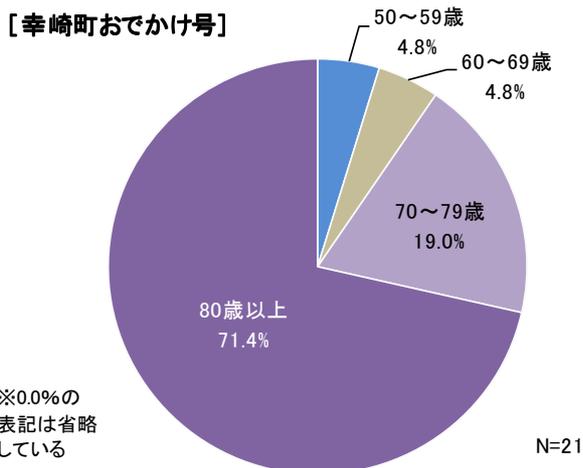
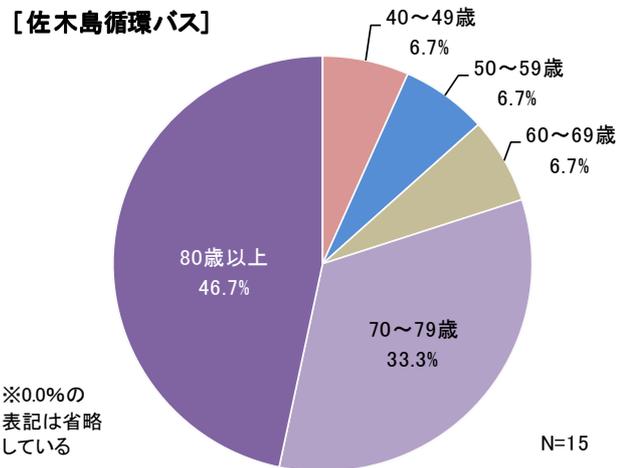
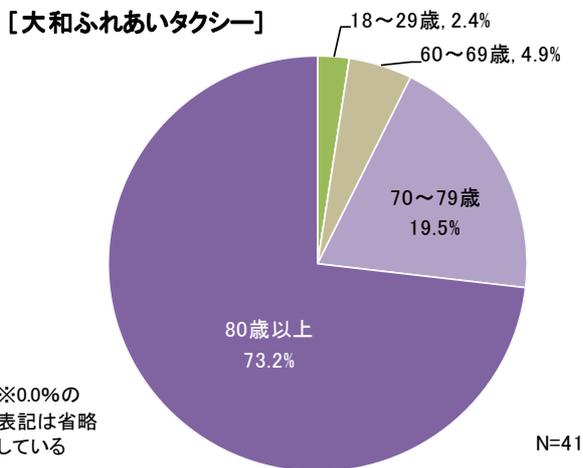
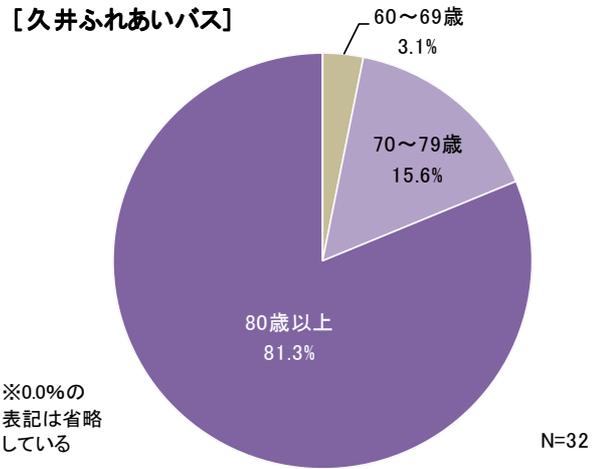
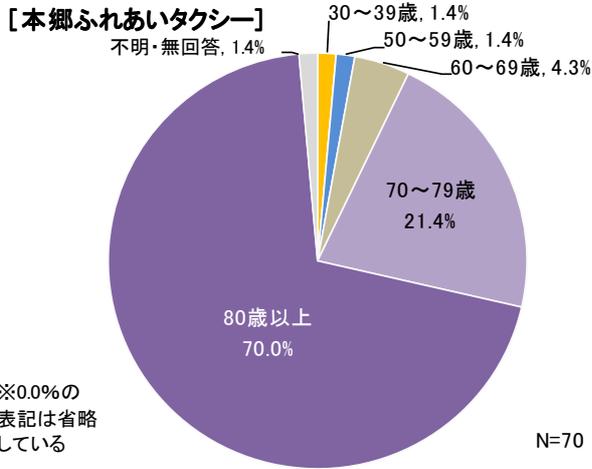


図 年齢

## 4.2 普段の地域コミュニティ交通の利用実態

### ①地域コミュニティ交通の利用目的（複数回答）

○地域コミュニティ交通の利用目的は[大和ふれあいタクシー]では「生活必需品の買物」と「通院」が同程度で多く、他の地域コミュニティ交通で「通院」が最も多くなっている。特に、[幸崎おでかけ号]、[久井ふれあいバス]、[八幡町民タクシーさくら号]では「通院」が8以上とその割合が高い。

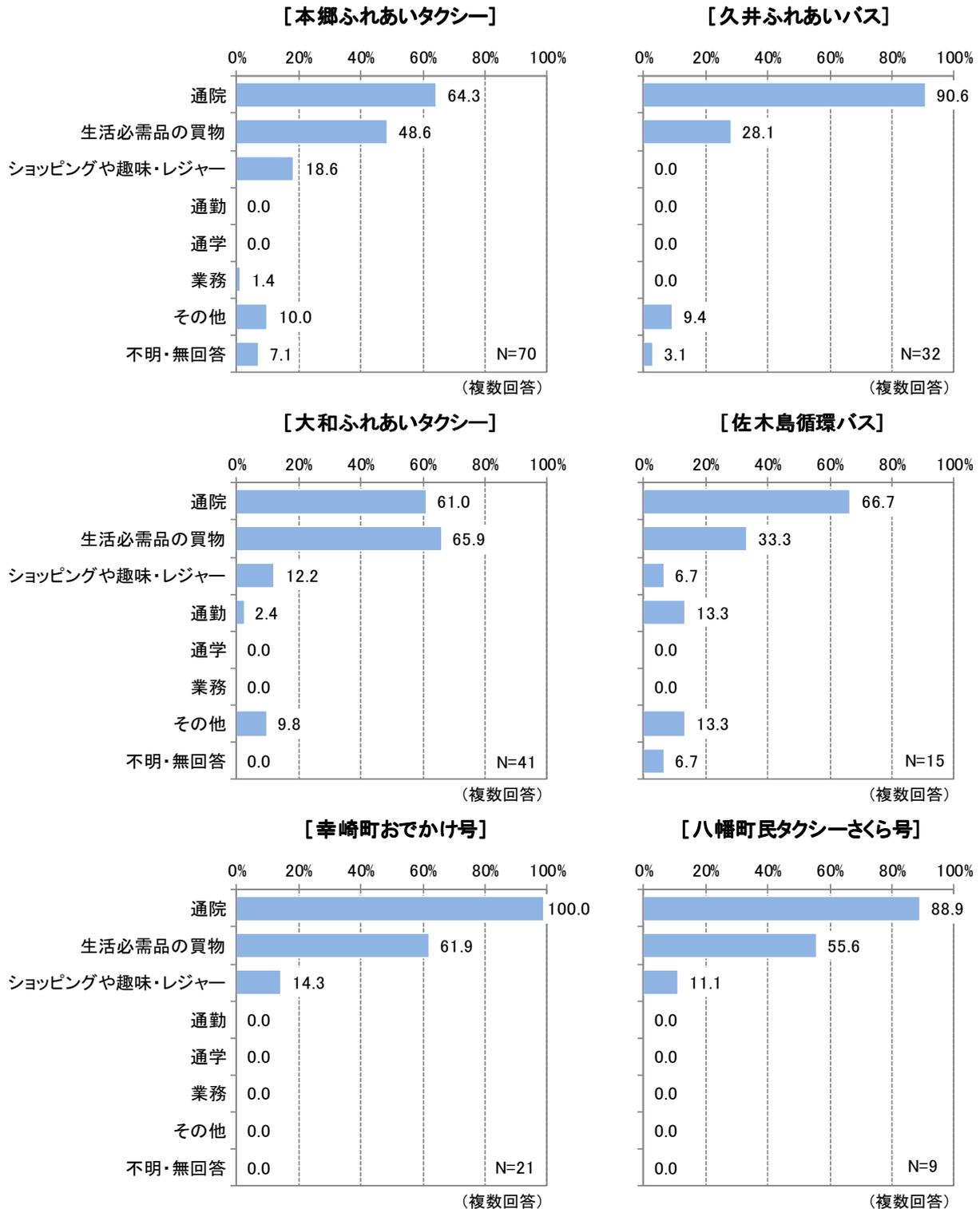


図 地域コミュニティ交通の利用目的

### 4.3 地域コミュニティ交通の満足度や問題点

#### ①地域コミュニティ交通の満足度

○地域コミュニティ交通の満足度はすべて地域コミュニティ交通で『満足』が『不満』を上回っており、特に[幸崎町おでかけ号]では9割以上が『満足』と回答している。一方、[佐木島循環バス]では「やや不満」が26.7%となっており、他の交通と比べて不満を感じている割合が高い。

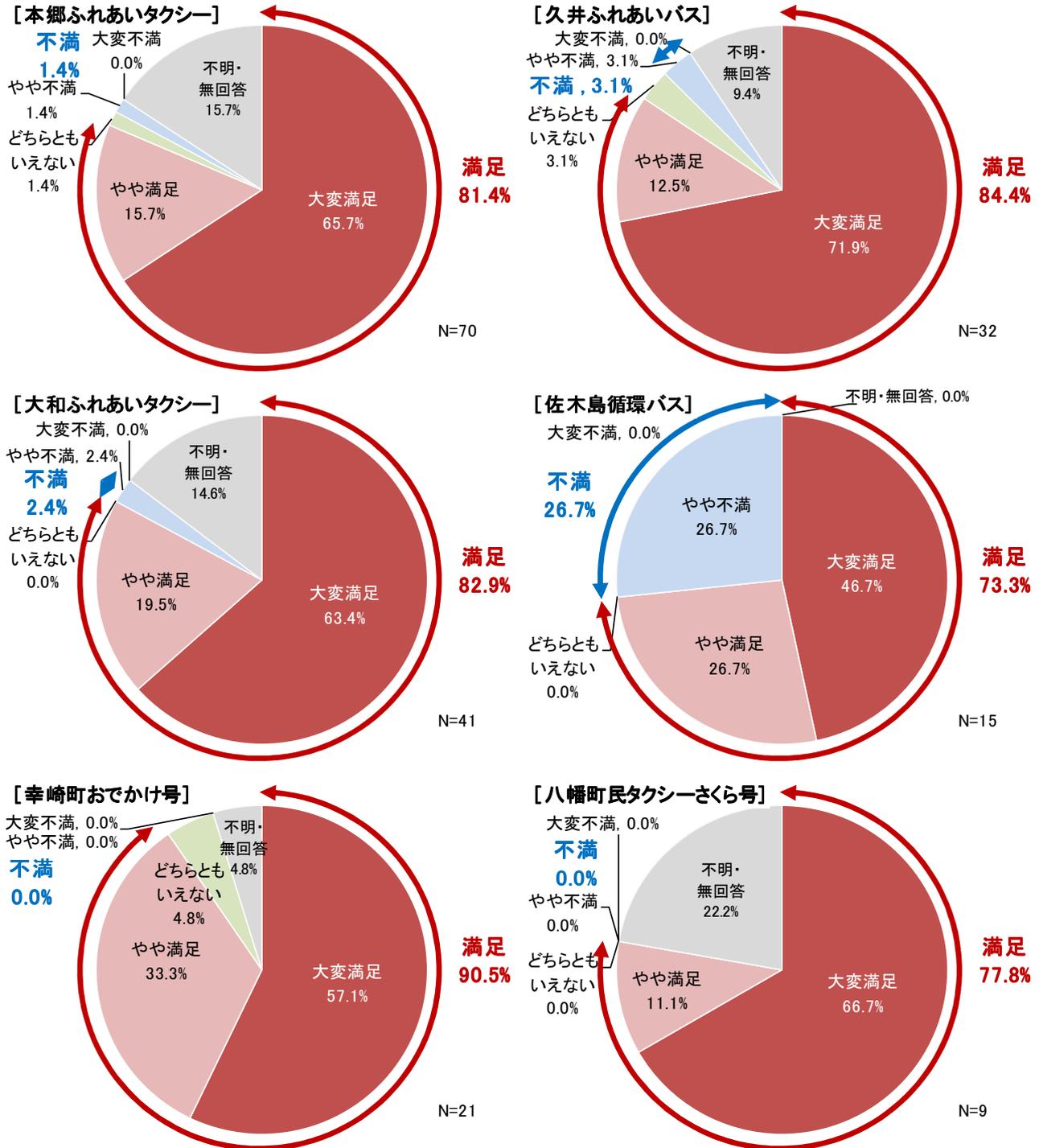


図 地域コミュニティ交通の満足度

<地域コミュニティ交通>

[5年前と比較]

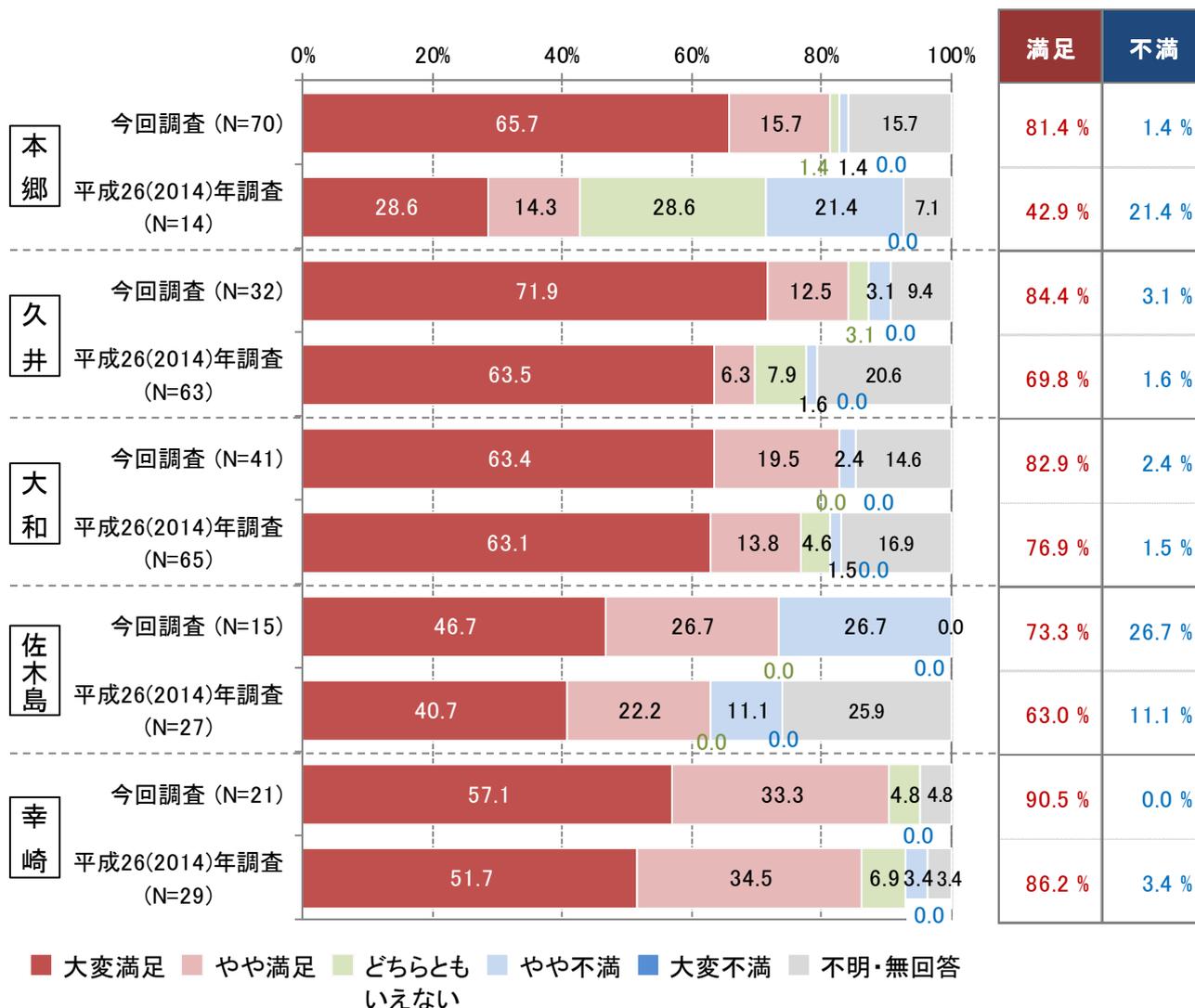


図 地域コミュニティ交通の満足度

②地域コミュニティ交通を利用しにくいと感じる点（複数回答）

○地域コミュニティ交通を利用しにくいと感じる点は〔本郷ふれあいタクシー〕では「運行日(週3日)が少ない」(25.7%)と「特になし」(27.1%)が同程度,〔佐木島循環バス〕では「土日・祝に運行しない」と「1日の運行回数が少ない」が同率(46.7%)で多く,〔幸崎おでかけ号〕では「1日の運行回数が少ない」(33.3%),「路線バスとの乗り継ぎが不便」(28.6%)の順で多くなっている。

○一方,〔久井ふれあいバス〕,〔大和ふれあいタクシー〕,〔八幡町民タクシーさくら号〕では「特になし」が最も多い。

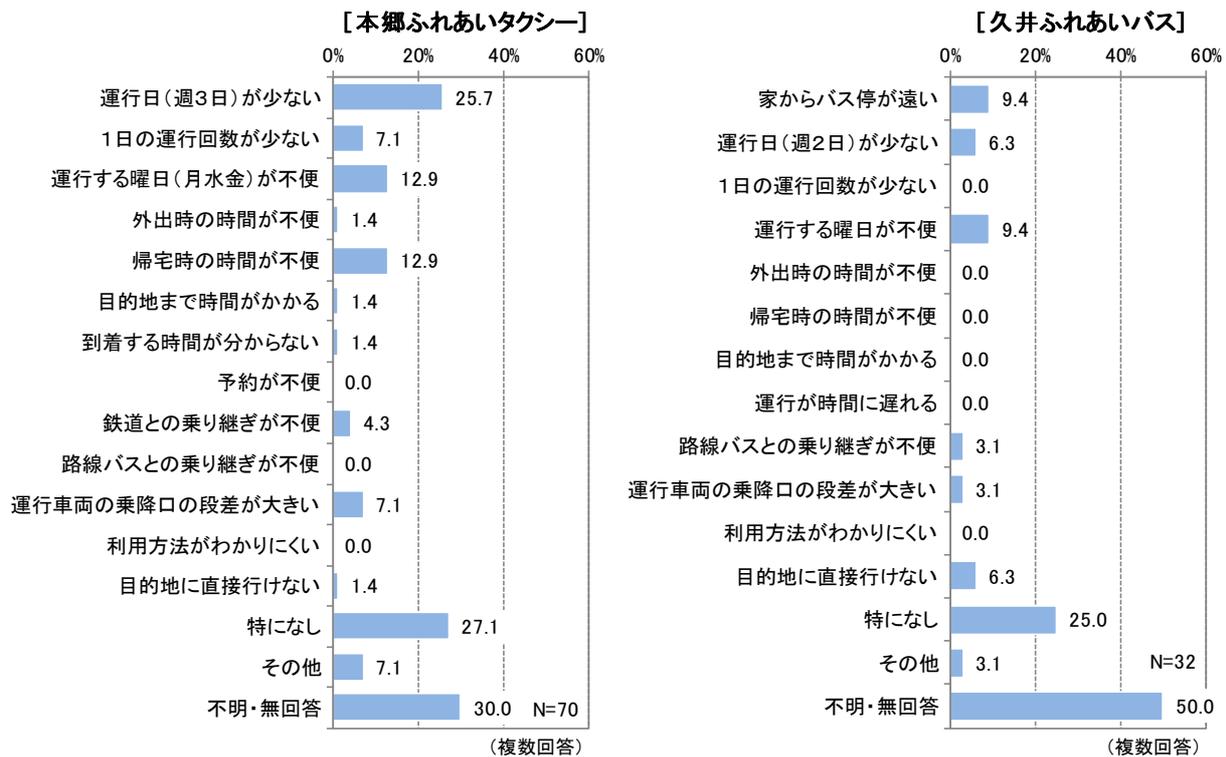


図 地域コミュニティ交通を利用しにくいと感じる点

＜地域コミュニティ交通＞

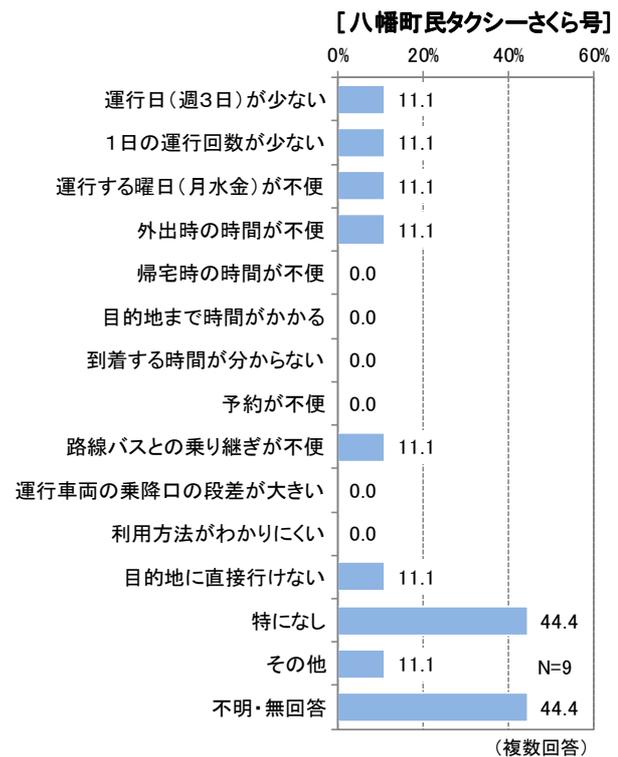
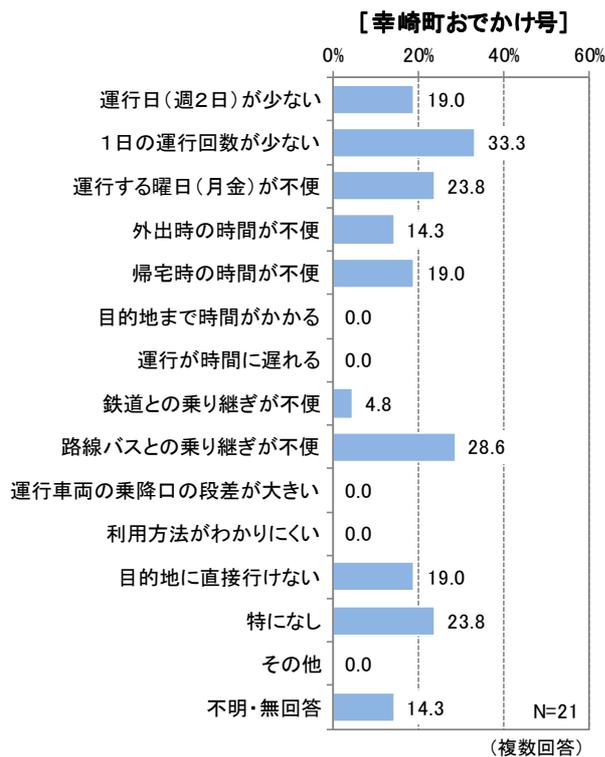
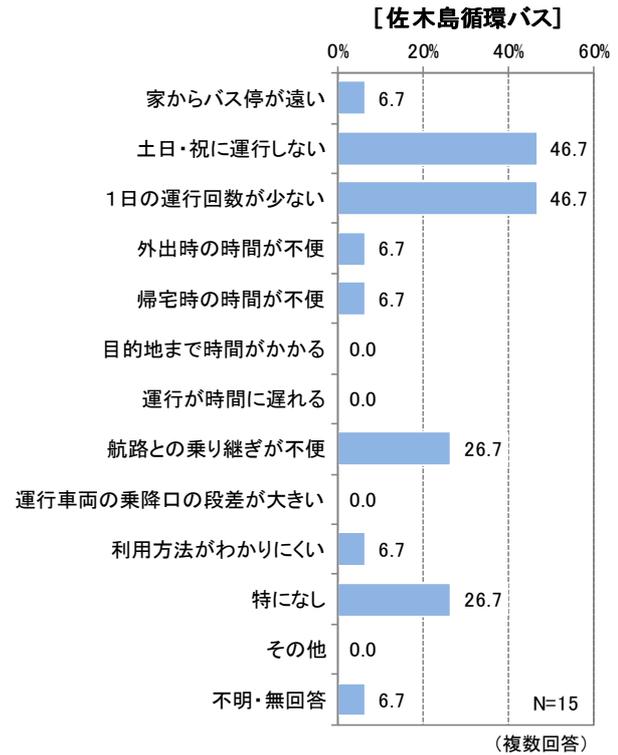
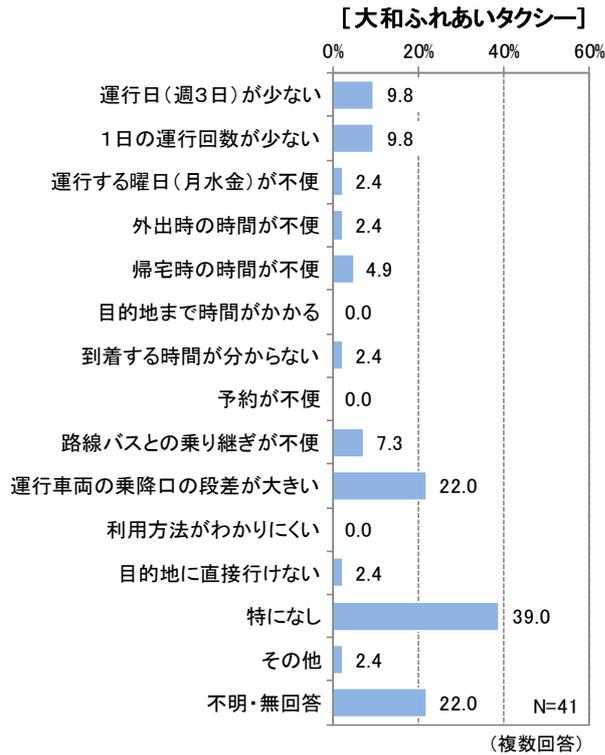


図 地域コミュニティ交通を利用しにくいと感じる点

## 5 八幡町民アンケート調査の結果概要

※昨年度運行を開始した「さくら号」エリア

### 5.1 世帯の移動手段

#### ① 「さくら号」の利用有無

○ 「さくら号」の利用有無は「誰も利用したことがない」が76.8%を占める。

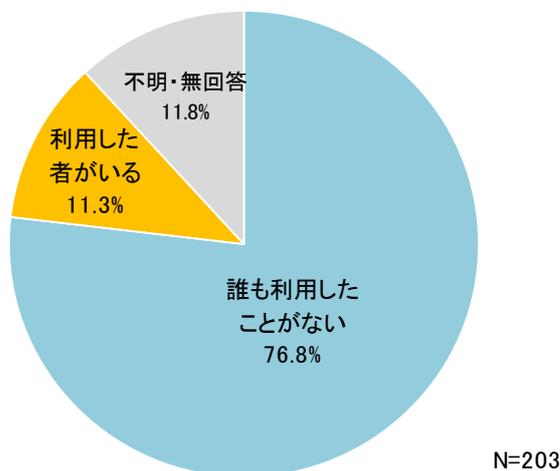


図 「さくら号」の利用有無

### 5.2 「さくら号」の利用実態・満足度・問題点（利用経験がある人のみ）

#### ① 「さくら号」の利用目的（複数回答）

○ 「さくら号」の利用目的は「通院」が39.1%で最も多く、以下「生活必需品の買物」（30.4%）、「ショッピングや趣味・レジャー」（21.7%）と続いている。

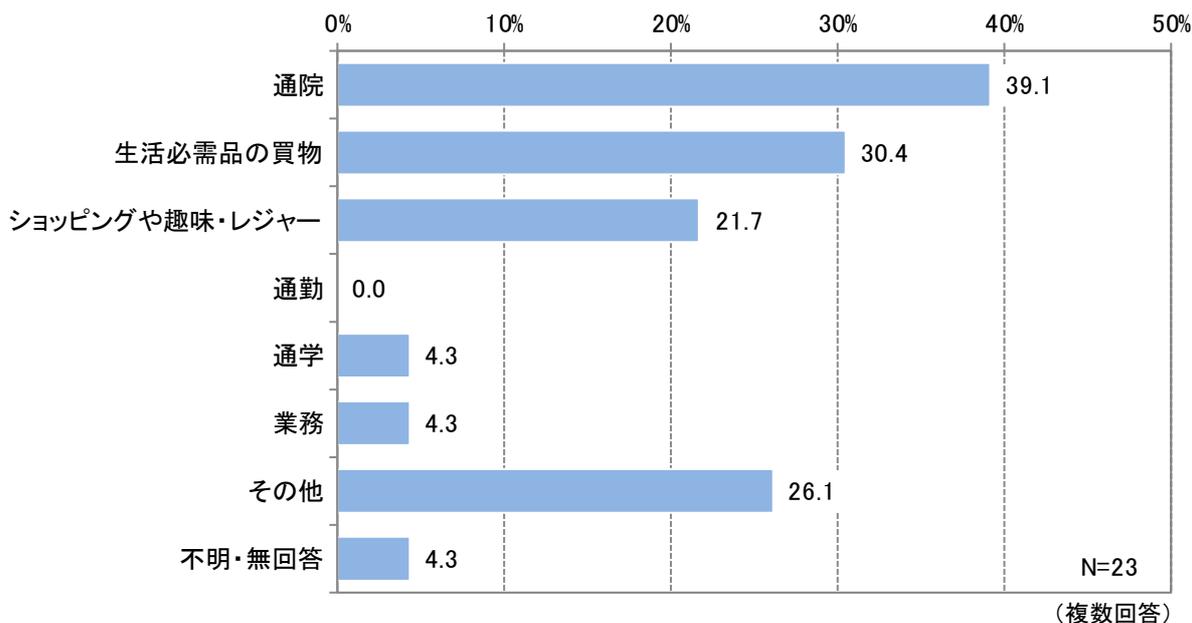


図 「さくら号」の利用目的

② 「さくら号」の満足度

○ 「さくら号」の満足度は、不明・無回答の人を除くとすべての人が『満足』と回答している。

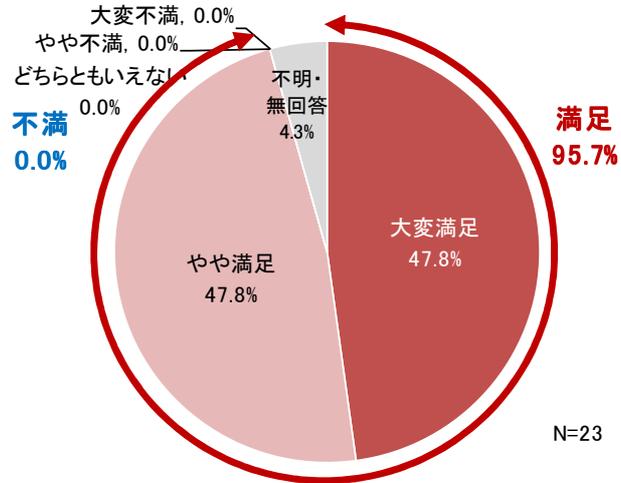


図 「さくら号」の満足度

③ 「さくら号」を利用しにくいと感じる点（複数回答）

○ 「さくら号」を利用しにくいと感じる点は「運行日(週3日)が少ない」が30.4%で最も多く、次いで「運行する曜日(月水金)が不便」が26.1%となっている。一方、21.7%は「特になし」と回答している。

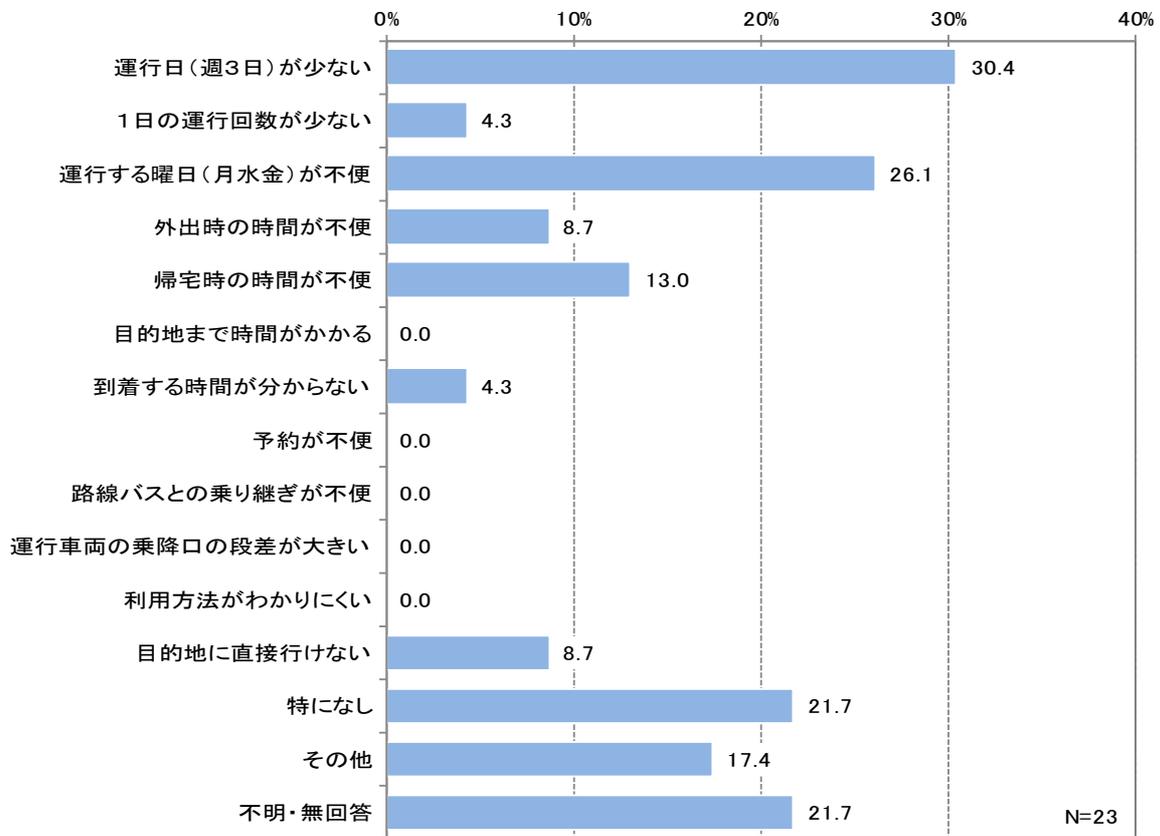


図 「さくら号」を利用しにくいと感じる点

### 5.3 今後の利用意向（現在、移動手段で困っている方）

#### ① 「さくら号」を利用したことがなく移動に困っている方の今後の利用意向

- 「さくら号」を利用したことがなく移動に困っている方の今後の利用意向は「今すぐは利用しないが、数年のうちに必要になると思う」が43.5%で最も多くなっている。
- 「絶対に利用する」(8.7%)と「利用方法がわかれば利用する」(4.3%)、「運行内容が改善されれば利用する」(17.4%)を合わせると、3割が利用したい意向を持っている。

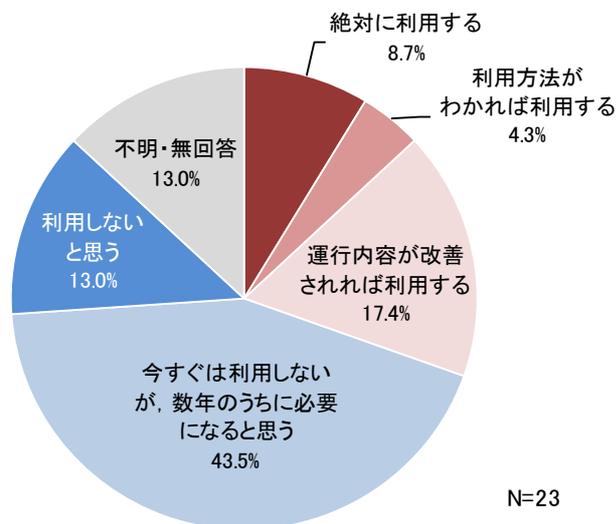


図 「さくら号」を利用したことがなく移動に困っている方の今後の利用意向

## 6 町内会長・自治会長・自治区長アンケート調査の結果概要

### 6.1 町内会等における移動の問題

#### ①暮らしに必要な移動手段に関する問題の重要度

○暮らしに必要な移動手段に関する問題の重要度は「重要な問題である」が43.6%で最も多く、「非常に重要な問題である」(25.1%)と合わせると『重要』と回答した割合が約69%となっている。

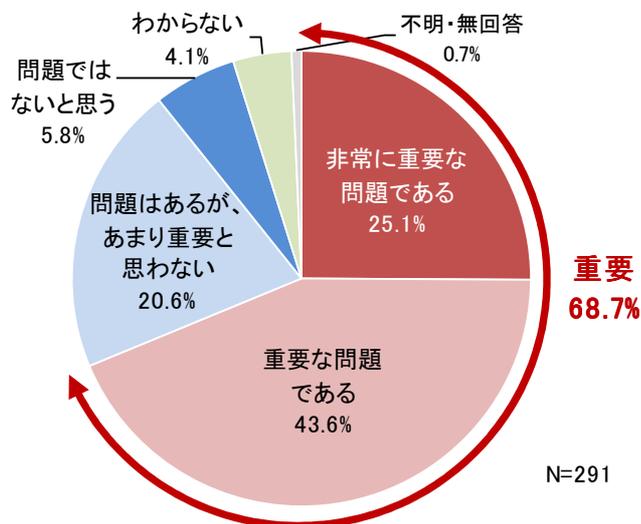


図 暮らしに必要な移動手段に関する問題の重要度

#### ②暮らしに必要な移動手段に関する問題の今後

○暮らしに必要な移動手段に関する問題の今後は「あと10年もしないうちに、より深刻な問題になる」が35.1%で最も多く、「あと5年もしないうちに、より深刻な問題になる」と合わせると『10年以内に深刻化』と回答した割合が約64%となっている。

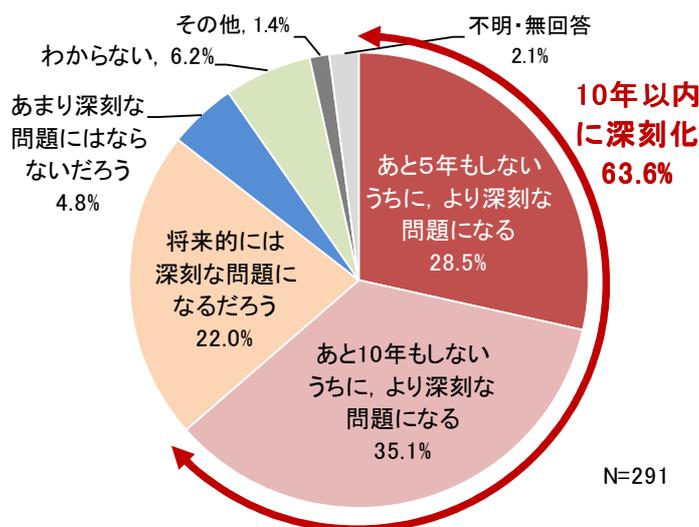


図 暮らしに必要な移動手段に関する問題の今後

③暮らしの移動で困っている住民を、地域の住民同士で支え合う考え方について

○暮らしの移動で困っている住民を、地域の住民同士で支え合う考え方については「興味はあるが、町内会等の主導での取り組みは難しい」が72.2%と多くを占めている。一方、「よい仕組み・制度があれば、町内会等の主導で取り組みたい」は11.7%となっている。

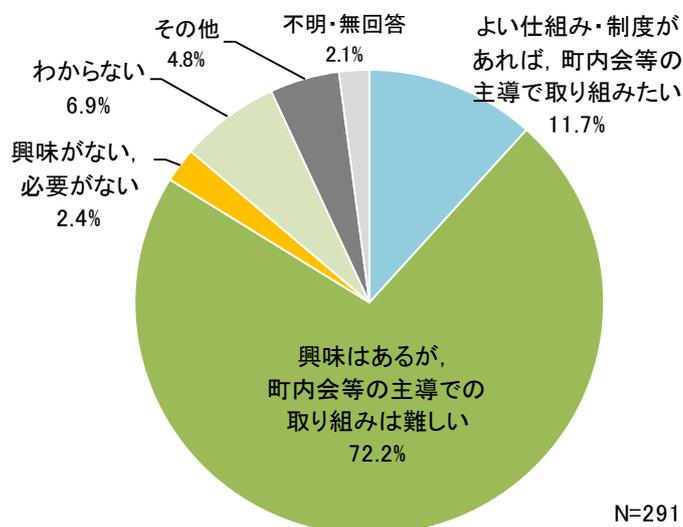


図 暮らしの移動で困っている住民を、地域の住民同士で支え合う考え方について

④暮らしに必要な移動手段を便利にするアイデアや、あればよいと思うサービス

[主な意見(自由意見より)]

○新たな運行サービスの要望等 (39件)	・公共施設や病院、スーパー等を巡回する小型バス ・デマンド型の乗合タクシー など
○住民主導・町内会主導は困難、行政支援を要請 (32件)	・町内会自体の存続の問題あり ・事故や責任問題等で難しい など
○住民互助・地域でカバー・仕組みづくり等 (28件)	・住民同士の支えあい ・ボランティア等で支える仕組み(登録, 保険, 事故対応) など
○タクシー利用に関する要望等 (28件)	・高齢者・免許返納者への運賃助成・割引券 など
○地域コミュニティ交通の充実等 (14件)	・増便, 毎日運行 ・移動範囲の拡大(河内町、世羅町等の病院、買物) など
○買物支援のサービス等 (13件)	・地域での買い物代行サービス ・移動販売車 など
○路線バスに関する要望等 (10件)	・増便, 運賃割引, 市外の優待券利用 など
○福祉関係のサービスの要望等 (7件)	・介護タクシーの割引, 高齢者の外出支援サービス ・デイサービス業者所有の人材、車両の活用 など

## 7 民生委員・児童委員アンケート調査の結果概要

### 7.1 担当地区における移動の現状や問題

#### ①自動車を持っていない高齢世帯が普段利用している交通手段（複数回答）

- 自動車を持っていない高齢世帯が普段利用している交通手段は、「タクシー」が 62.0%で最も多く、以下「自家用車（親族・知人による送迎）」（55.1%）, 「路線バス」（43.7%）, 「自転車」（40.5%）と続いている。
- 『地域コミュニティ交通』の利用は「本郷ふれあいタクシー」（10.8%）, 「大和ふれあいタクシー」（10.1%）がそれぞれ約1割となっている。

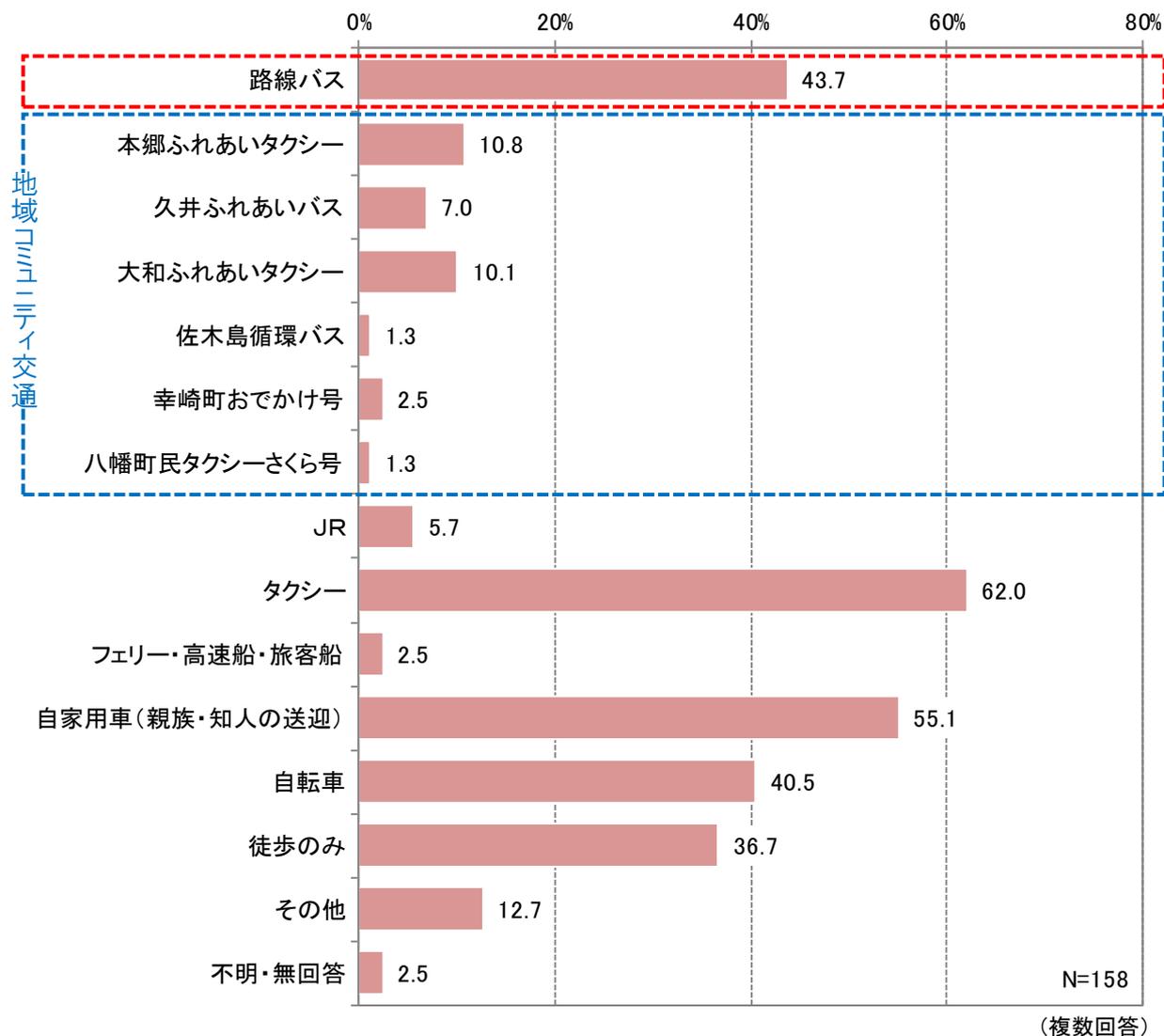
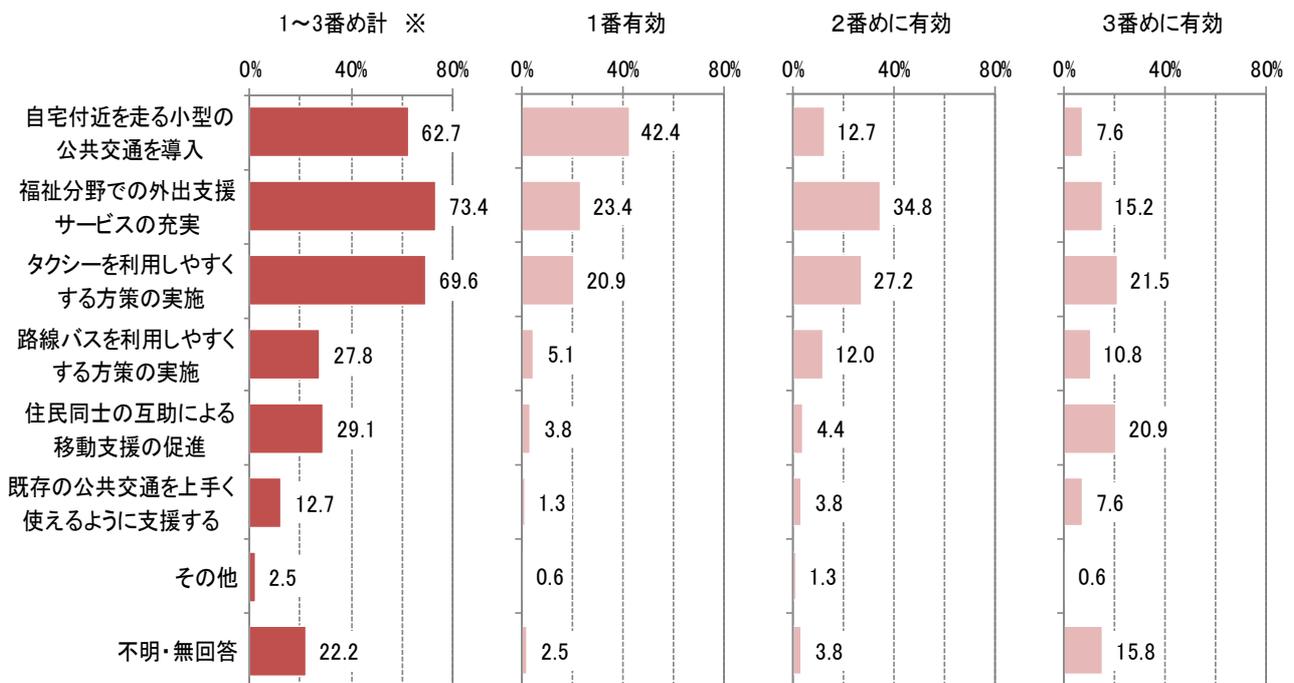


図 自動車を持っていない高齢世帯が普段利用している交通手段

②移動に困っている高齢者が公共交通を利用するために有効な方策

○移動に困っている高齢者が公共交通を利用するために1番有効な方策は「自宅付近を走る小型の公共交通を導入」が42.4%で最も多く、次いで「福祉分野での外出支援サービスの充実」(23.4%)となっている。

○1番有効～3番めに有効までの回答を合計すると、「福祉分野での外出支援サービスの充実」が73.4%で最も多く、以下「タクシーを利用しやすくする方策の実施」(69.6%)、「自宅付近を走る小型の公共交通を導入」(62.7%)と続いている。



※1~3番めの回答を複数回答扱いで集計した値

図 移動に困っている高齢者が公共交通を利用するために有効な方策

③有効な方策に関する具体的なアイデアや、あればよいと思うサービス

[主な意見(自由意見より)]

○新たな運行サービスの要望等 (19件)	・地域へのコミュニティバス, デマンド式乗合タクシー ・スーパーや駅, 病院までのバス ・自宅前で乗降できるサービス導入 など
○タクシー利用に関する要望等 (18件)	・タクシー運賃の補助 など
○買い物の支援等 (18件)	・買い物した物を自宅まで運ぶサービス, 買い物代行サービス ・移動販売車 など
○住民互助・地域でカバー・仕組みづくり等 (10件)	・地域での助け合いでの移動支援 ・取り組みやすい仕組み(保険や責任)づくり など
○福祉関係のサービスの要望等 (9件)	・福祉タクシー, 福祉バスの導入 ・車いすのまま利用できるタクシー など
○地域コミュニティ交通の充実等 (8件)	・市外(河内駅, 世羅町等)までコミュニティ交通を延伸 ・増便, 毎日運行 など
○路線バスに関する要望等 (6件)	・小型化, 低床化, 運賃割引 ・フリー乗降(バス停以外での乗降) など